marantz®

Model VP-11S1 取扱説明書

DLP™ Projector

お買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
お読みになったあとは、「保証書」とともに大切に保存してください。
なお、お買い上げいただきました製品は、厳重な品質管理のもとに生産されておりますが、ご不審な箇所などがありましたら、お早めにお買い上げ店、当社お客様ご相談センター、または最寄りの当社営業所／サービスセンターにお問い合せください。

安全上のご注意

絵表示について

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

● 記号は行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

△記号は注意を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は指をはさまれないように注意）が描かれています。

⚠ 警 告

● 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。
● 万一、機器の内部に水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

電源プラグをコンセントから抜く

● 万一、機器の内部に異物が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
● 万一、この機器を落したり、キャビネットを破損した場合は、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

● 電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
● この機器を設置する場合は、壁から30cm以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は30cm以上離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面から10cm以上、左右側面、前面、背面から30cm以上のすきまをあけてください。内部に熱がこもり火災の原因となります。
● ゲーム機器に接続しないでください。健康を損なう恐れがあります。

水場での使用禁止

● 風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

接触禁止

● 雷が鳴り出したら、電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

● この機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

警告

- この機器の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合火災・感電の原因となります。
- この機器の上にろうそく等の炎が発生しているものを置かないでください。火災の原因になります。
- 乾電池は、充電しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがの原因となります。
- 表示された電源電圧(交流100ボルト)以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- この機器を使用できるのは、日本国内のみです。船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災の原因となります。
- この機器の開口部をふさがないでください。開口部をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。この機器には、内部の温度上昇を防ぐため、ケースの上部や底部などに開口部があります。次のような使い方はしないでください。
  - この機器をあお向けや横倒し、逆さまにする。
  - この機器を押し入れ、専用ラック以外の本箱など風通しの悪い狭い所に押し込む。
  - テーブルクロスをかけたり、じゅうたん、布団の上に置いて使用する。
- 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。
- この機器の開口部などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落し込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。
- この機器の下に紙や布などの柔らかいものを置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となります。

分解禁止

- この機器のキャビネット、カバーは絶対外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。
- この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。

注意

- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

- 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- ご不要になった電池を廃棄する場合は、各地の地方自治団体の指示(条例)に従って処理してください。

- 電池は、金属性のボールペン、ネックレス、コイン、ヘアーピンなどと一緒に携帯、保管しないでください。電池のプラス端子 ⊕ とマイナス端子 ⊖ の間がショートし、電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。
- 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。
- この機器の上にテレビやオーディオ機器などを載せたまま移動しないでください。倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。
- この機器に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわしたりして、けがの原因となることがあります。
- この機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。
- 光源ランプ点灯中にレンズをのぞき込まないでください。強い光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

注 意

● 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

● テレビ、オーディオ機器、ビデオ機器等を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると発熱しやけどの原因となることがあります。
● 電源を入れる前には音量(ボリューム)を最小にしてください。突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。
● 電池をリモコン内に挿入する場合、極性表示プラス⊕とマイナス⊖の向きに注意し、表示通りに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
● 電源のスイッチを切っても電源からは完全に遮断されていません。万一の事故防止のため、本製品を電源コンセントの近くに置き、すぐに電源コンセントからプラグを抜けるようにしてご使用ください。

● 長期間使用しないときは、電池をリモコンから取り出しておいてください。電池から液がもれて火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もし液がもれた場合は、電池ケースについた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。また、万一、もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

電源プラグをコンセントから抜く

● 製品に同梱している電源コードのみ使用してください。製品に同梱していない電源コードは使用しないでください。

● 5年に一度くらいは機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。機器の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店などにご相談ください。

注 意

● 磁力の影響を受けやすいものを近づけると、不具合が生じることがあります。ご注意ください。
● ランプ寿命が1,000時間を超えましたら、早めのランプ交換を推奨します。品質には万全を期しておりますが、ごくまれにランプが破損することがあります。

電源プラグをコンセントから抜く

● 旅行などで長期間、この機器をご使用にならないときは安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。
● 移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
● お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

ランプ取り扱い上の注意

⚠ 警告

SHPランプは、ガラス製の高圧水銀ランプです。このランプは、交換時の取扱方法、プロジェクターの周囲温度などにより、破裂したり不点灯になる場合があります。
またランプの寿命はランプによってばらつきがあり、最大使用時間に達していなくても、破裂したり不点灯になることがあります。ランプが破裂した場合、ランプユニットやプロジェクター内部にガラスの破片が飛び散ったり、ランプバルブ内の水銀を含むガスがプロジェクターの排気孔から出たりすることがあります。
ご使用の前に、プロジェクターおよび交換ランプの取扱説明書をよくお読みになり、取扱には十分ご注意ください。
万一の際はサービスマンにお問い合わせください。

点灯中のランプは、絶対に肉眼で見ないでください。目の痛みや視力障害の原因になることがあります。

点灯中のランプの光りを、絶対に直接皮膚に当てないでください。皮膚に炎症がおこる原因となります。

ランプを落としたり、物をぶつけたり、無理な力を加えたり、傷をつけたりしないようにしてください。

ランプを交換する時は、火傷や感電の恐れがありますので、必ず電源を切りAC電源コードを抜いて、ランプが完全に冷えるまで60分以上待ってから行なってください。

万一、ランプが破裂した場合は、必ずAC電源コードをコンセントから抜いて、サービスマンにランプ交換を依頼してください。ガラスの破片で、けがをしたりプロジェクター内部を傷つける恐れがありますので、お客様によるランプ交換やプロジェクター内部の清掃はおやめください。

プロジェクターを天吊りや高所に設置されている場合、高所の作業は非常に危険ですので、お客様によるランプ交換やランプ破損の処理は絶対に行なわないでください。

⚠ 注意

長時間使用したランプは、破裂する可能性が高くなります。早めのランプ交換をお勧めします。最大使用時間を越えての使用は絶対におやめください。

交換用ランプユニットは、マランツ純正品をお使いください。交換する際には、取扱説明書に明記されているランプユニットの型番と同じことをご確認ください。

ランプ交換の際は、取扱説明書内の“ランプユニットの交換”をよくお読みになり、交換作業を行なってください。

使用済みのランプは割らずに、産業廃棄物として指定の処理業者又は購入先へ廃棄を依頼してください。

万一、ランプが破損した場合、水銀蒸気を吸わないために、すぐにその場を離れ30分以上の室内換気を行ってください。

万一、水銀蒸気を吸った場合には、医者の診断を受け、その指示に従ってください。

目　次

ご使用上の注意 2
- 注意 ランプの取り替え 2
- 注意 ランプユニット 2
- 注意 プロジェクターの設置 2
- 動作時の注意 2

主な特長 3

付属品の確認 3

各部の名称とはたらき 4
- 本体正面と上面 4
- 本体後面と端子部分 5
- 本体底面 5
- リモコン 6
- リモコンの操作範囲 8
- リモコンの電池の入れ方 8

接続のしかた 9
- 電源コードの接続 9
- ビデオ機器との接続 9
- HDビデオ、DVDプレーヤー、サテライト、ケーブルチューナーまたはパソコンとの接続 10
- 本格的なホームシアターシステムの接続 10

ご使用前の設定 11
- 電源を入れる 11
- ズームとフォーカス調整 11
- フォーカスの微調整 11
- レンズシフト範囲 12
- 投影画像の位置を調整 13
- 本機の高さ調節（アジャスター調整） 13
- 画像の台形ひずみを補正 13

設置について 14
- 設置のしかた 14
- スクリーンサイズと投影距離 15

基本的な使いかた 16
- 電源を入れる 16
- 入力信号を選択する 16
- アスペクト（縦横比）モードを選択する 16
- 16：9スクリーンをご使用の場合 17
- 4：3スクリーンをご使用の場合 18
- 電源を切る 18

メニューの使いかた 19
- メニューの構成 19
- 信号に対する機能一覧 20
- 映像モードについて 22
- メニューの操作方法 22
- 画質調整をする 23
- 微調整をする（1）（ファインメニュー1） 24
- 微調整をする（2）（ファインメニュー2） 24
- 入力信号設定をする 25
- RGB/HD調整をする 25
- HDMIの設定をする 26
- 表示設定の調整 26
- OSD/ブランキング 27
- 初期設定をする 28

メンテナンスのしかた 29
- ランプ寿命とランプ交換 29
- ランプユニットの交換 30
- レンズのお手入れ 31
- 交換部品 31
- 別売品 31

仕様 31

用語 32

外観図 33

故障かな？と思ったら 34

エラーモード一覧 35

スクリーンメッセージ 35

保証・アフターサービスについて 36

本製品を使用できるのは日本国内のみで、外国では使用できません。

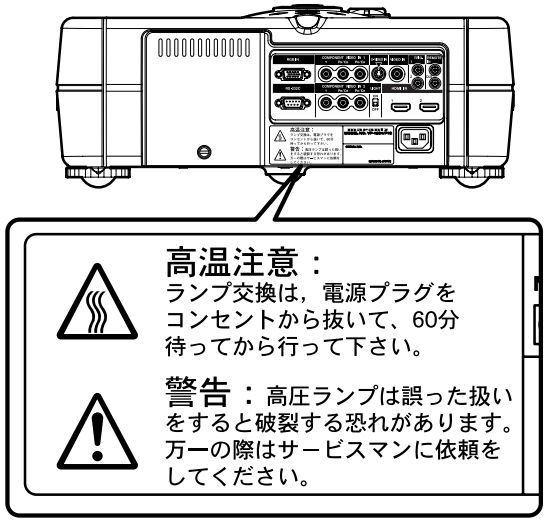
ご使用上の注意

注意 | ランプの取り替え

ランプが割れた場合、ガラスの破片にご注意ください。

注意 | ランプユニット

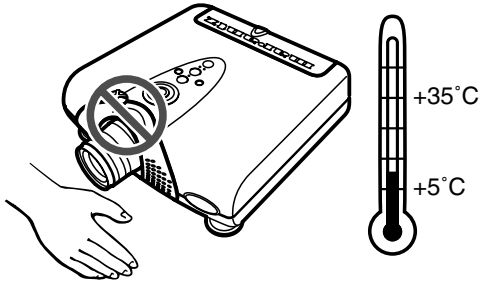
ランプが割れた場合、ガラスの破片にご注意ください。
ランプが割れた場合は、お近くの当社営業所／サービスセンターまたは販売店にランプユニットの交換をお申し付けください。
「ランプユニットの交換」(☞ P.29)



注意 | プロジェクターの設置

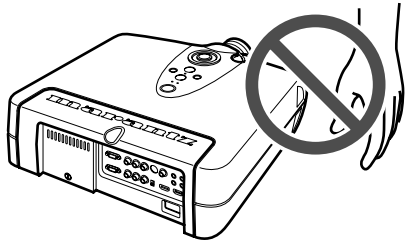
少ないメンテナンス回数で、性能を維持するために、湿気、ホコリ、煙草の煙が多い場所には設置しないでください。
もしこのような場所に設置した場合は、レンズや通気孔のクリーニングを通常よりも頻繁に行ってください。適切なメンテナンスが行われていれば、このような環境の中でも、本機を長くご利用いただくことができます。本機内部の清掃は、当社営業所／サービスセンターまたは販売店にご相談ください。

- 暑すぎたり寒すぎたりする場所に、本機を設置しないでください。
  動作温度：5℃ ～ 35℃
  保管温度：−20℃ ～ +60℃



動作時の注意

- 通気孔、ランプ室カバーなどの周辺部は、プロジェクター動作時にとても熱くなることがあります。やけどをする恐れがありますので、充分に冷めるまで触れないようにしてください。
- 通気孔から近くの壁または障害物までの距離を、最低でも30cmはあけてください。
- 冷却ファン(通気孔)の前がふさがれていると、保護回路が自動的に働きランプを消灯させますが、これは故障ではありません。
  電源コードをコンセントから抜いて、最低10分はお待ちください。その後、通気孔をふさいでいる物を取り除いてから、もう一度電源コードをコンセントに差し込んでください。
  プロジェクターは正常な動作に戻ります。



主な特長

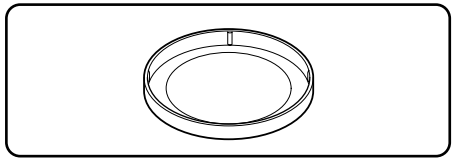
- 最新型 DLP®チップ「1080p DLP®」（1920X1080画素16：9ワイドパネル）を搭載。後述する映像回路、光学系部品など、映画鑑賞用に最適化したシステムにより、高い色再現性と映画フィルム並みの深い黒を再現し、暗部が引き締まった階調豊かな映像を表現。
- 放送業務機器で実績のあるカナダ・ジェナム社が開発した高性能ビデオプロセッサGF9351を搭載。4つのVXP™テクノロジー（TruMotionHD™、FineEdge™、RealityExpansion™、FidelityEngine™）によって、きめ細かく滑らかな高品質映像を実現。
- マランツ用に特注したコニカミノルタ社製光学系を採用。
- 大型98mm、NDフィルターを搭載した新開発7セグメントカラーホイール。
- 4つの画像モード（シアター、スタンダード、ダイナミック、ユーザー）
- 5プリセットガンマ搭載
- 好みの映像に自在に調整出来る新ファインメニュー
- 調整した映像モードを保存できる18個のユーザーメモリー
- 色温度設定機能（5250K、5800K、6500K、7500K、9300K）
- ブラックレベル調整機能
- NTSC、PAL、SECAM、BS / CS / 地上デジタル放送(480i/p、540p、576i/p、720p、1035i、1080i/p)の各入力信号に対応。
- 次世代AVインターフェースHDMI端子2系統をはじめ、2系統のコンポーネント端子などの豊富な入力端子
- 1.45倍ズームレンズ
- 投射位置を上下に移動出来るレンズシフト機能
- 台形ひずみを補正する垂直デジタルキーストン
- 機能、天吊・背面投影にも対応する投射モード
- 全キーバックライトリモコン
- 暗い視聴環境下においても接続の変更、確認を容易にする入出力端子ライトアップ機能
- カスタムインストールに対応するRS-232C制御端子や12Vトリガー端子を装備。
- マランツシステムバス対応端子
- ダイキャスト製静音ダクトとカラーホイールモーターの密閉化、ファン回転数制御などにより低動作ノイズを実現。
- 高剛性で低輻射ノイズを実現するダイキャストシャーシ
- 2000時間の安定寿命と二重シールド安全構造を採用した200W SHPランプ。

– **Digital Light Processing**、**DLP**、**DLP**ロゴ、**DLPメダリオン**ロゴはテキサス・インスツルメンツの登録商標です。
– **VXP™**、**VISUAL EXCELLENCE PROCESSING™**および**VXP**ロゴは ジェナム・コーポレーションの商標、または登録商標です。
– **HDMI**、**HDMI**ロゴ、および**High-Definition Multimedia Interface**は、**HDMI Licensing LLC**の商標または登録商標です。
– 本書に記載されている各製品名は、各社の商標または登録商標です。

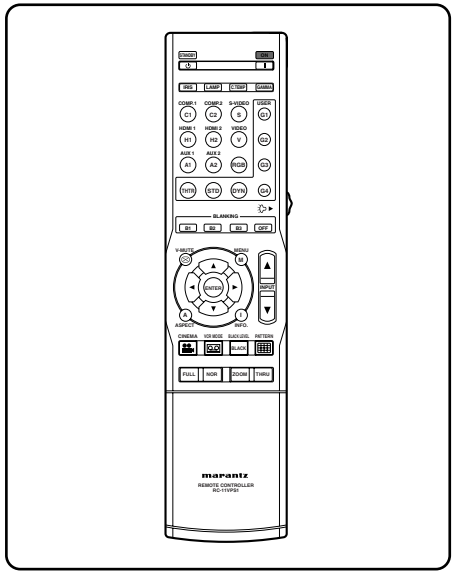
付属品の確認

箱を開けたら、ご使用前に下記の付属品が入っていることをご確認ください。

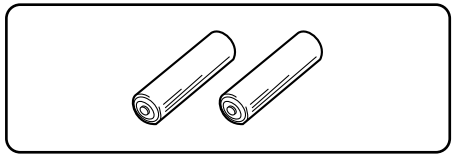
- レンズキャップ×1



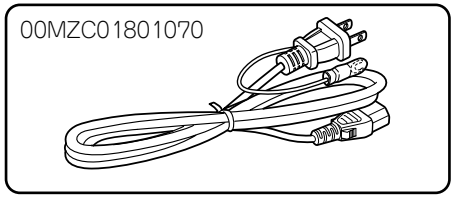
- リモコン×1



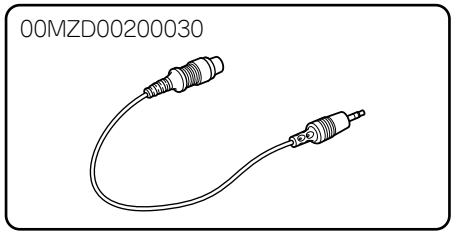
- 単4乾電池×2



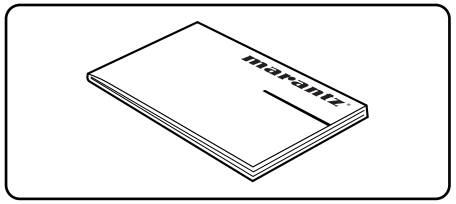
- AC電源コード（100V）×1



- バスコントロールアダプターケーブル（RCAミニジャック）×1



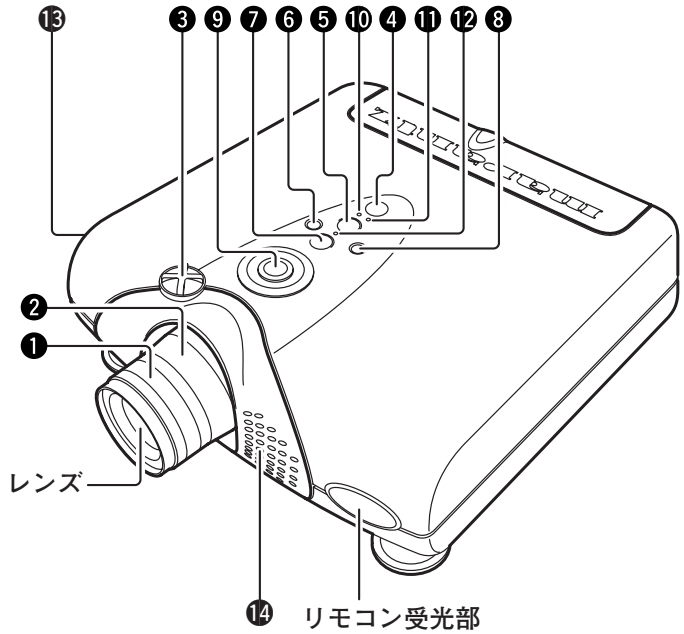
- 取扱説明書×1



- 保証書×1
- ご愛用者カード×1

各部の名称とはたらき

本体正面と上面



❶ フォーカスリング（☞ P.11）
映像のフォーカス(ピント)を調整します。

❷ ズームリング（☞ P.11）
映像の投影サイズを調整します。

❸ レンズシフトノブ（☞ P.13）
左右に回すことにより映像を上下に移動させます。

❹ ⏻ /I ボタン（☞ P.16）
電源の入/切(スタンバイ：待機状態)を切り替えます。

❺ MENU(メニュー)ボタン（☞ P.19）
メニューを表示します。

❻ ENTER(エンター)ボタン
選択したメニューの項目を確定します。

❼ INPUT(入力信号選択)ボタン（☞ P.16）
入力信号(COMPONENT 1、COMPONENT2、S-VIDEO、VIDEO、RGB、HDMI 1、HDMI 2)を切り替えます。

❽ PATTERN(パターン)ボタン（☞ P.11）
ピント合わせ用のパターンを表示します。

❾ 方向ボタン
上方向ボタン(UP)▲、下方向ボタン(DOWN)▼、左方向ボタン(LEFT)◀、右方向ボタン(RIGHT)▶
メニュー表示の中で項目の選択に使います。

❿ ON(パワーオン)インジケーター
電源が入ると青く点灯します。電源を切ると、約1分間点滅し消灯します。

⓫ STANDBY(スタンバイ)インジケーター
スタンバイ時に緑に点灯します。

⓬ WARNING / LAMP (ワーニング/ランプ)インジケーター
故障時、点灯または点滅します。エラーモードについては、34ページの一覧表を参照してください。

⓭ 吸気孔

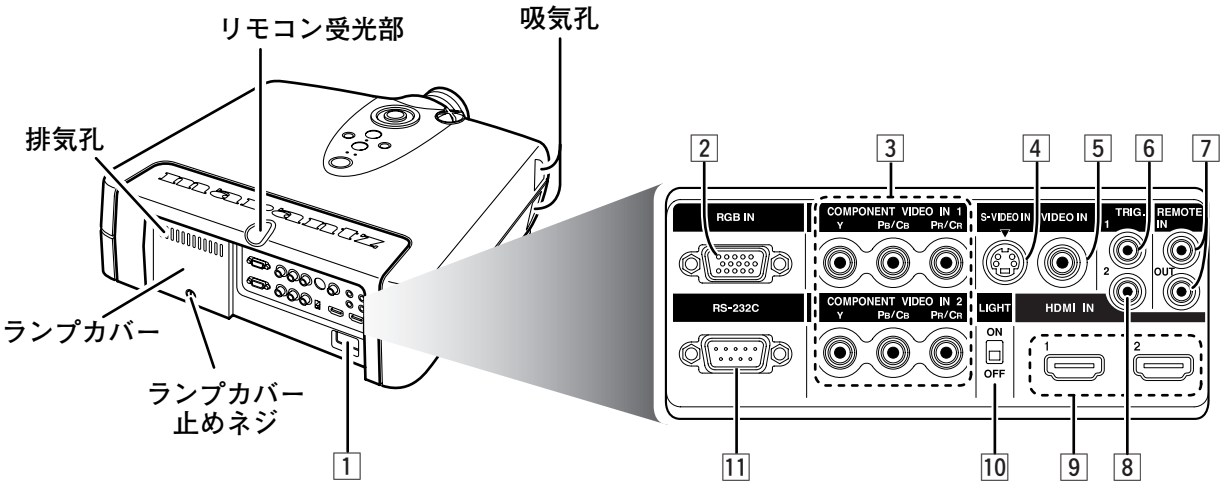
⓮ 排気孔

注意
- **排気孔部分では熱風が出るため、手を近づけないでください。**
- **吸気孔の前に物を置かないでください。冷却ができず安全装置が働きます。(☞ P.2)**

お知らせ：画素欠け
DLP®チップは精密技術によって製造されていますが、投影画面上に画素欠けが見られるときがあります。画素欠けが生じないよう、品質管理に最大限の努力を行っていますが、最新の技術をもってしても、画素欠けを完全に無くすことは不可能です。そのため、画素欠けについては保証の対象外になります。あらかじめご了承ください。

お知らせ：ランプ
SHPランプは精密技術によって製造されていますが、まれに寿命前に不具合を起こすことがあります。また、プロジェクターの明るさは、ランプの使用時間が増えるごとに暗くなります。寿命前にランプの不具合が生じないよう、品質管理に最大限の努力を行っていますが、最新の技術をもってしても、寿命前のランプの不具合を完全に無くすことは不可能です。そのため、SHPランプの不具合(破裂、切れる)については、初めから不具合が生じていたときのほかは、保証の対象外になります。同様に、使用時間が増したときに起こる、SHPランプの不具合(点滅、暗くなる)についても、保証の対象外になります。あらかじめご了承ください。

本体後面と端子部分



1 電源コード接続端子 （☞ P.9）
電源コードを接続し、電源を供給します。

2 RGB 入力端子
ビデオ機器またはパソコンのRGB出力端子と接続します。

3 コンポーネントビデオ入力1 & 2 端子
コンポーネントビデオ入力1および2には、Y、P_B/C_B、P_R/C_Rの端子があります。ビデオ機器、AVアンプ／プロセッサーまたはDVDプレーヤーなどのコンポーネントビデオ出力と接続します。

4 Sビデオ入力端子
ビデオ機器のSビデオ出力端子と接続します。

5 ビデオ入力端子
ビデオ機器のビデオ（コンポジット）出力端子と接続します。

6 トリガー1 端子（TRIG.1）
本機の電源の入/切（スタンバイ）と連動させ、外部機器をコントロールするときに使用します。TRIG.1出力端子は、本機が「スタンバイ」のとき0Vで、電源「入」のときに12Vを出力します。

注意 **・トリガー1を電源として使用しないでください。**

7 リモート入出力端子
他のマランツ製品とシステムを組み、本機をコントロールするときに使用します。他のマランツ製品のREMOTE CONTROL OUTと本機の REMOTE CONTROL INを、他のマランツ製品の REMOTE CONTROL INと本機の REMOTE CONTROL OUTを接続します。

注意 **・ケーブルを接続する場合、付属のバスコントロールアダプターケーブルを必ずご使用ください。**

8 トリガー2 端子（TRIG.2）
TRIG.2出力端子は、各アスペクト（フル、ノーマル、ズーム、V-ストレッチ、スルー）ごとの設定に従って、12Vを出力します。設定方法は、「初期設定をする」（☞ P.27） をお読みください。

注意 **・トリガー2を電源として使用しないでください。**

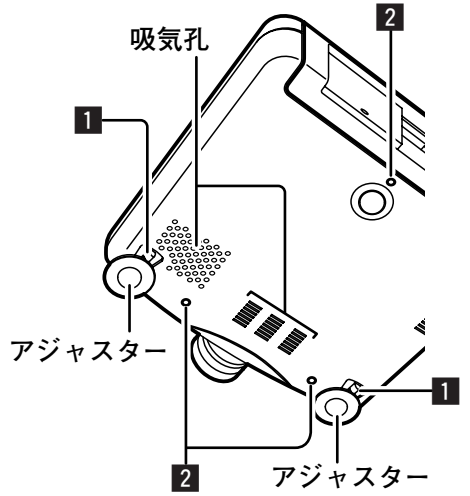
9 HDMI 入力端子1と2
ビデオ機器またはパソコンのデジタル出力端子と接続します。

注意 **・HDMI入力端子をお使いになる場合、10ページの注意に従って操作してください。**

10 端子部照明スイッチ
端子部分の照明を入/切します。

11 RS-232C端子
専門業者（カスタムインストーラー）用のコントロール端子です。

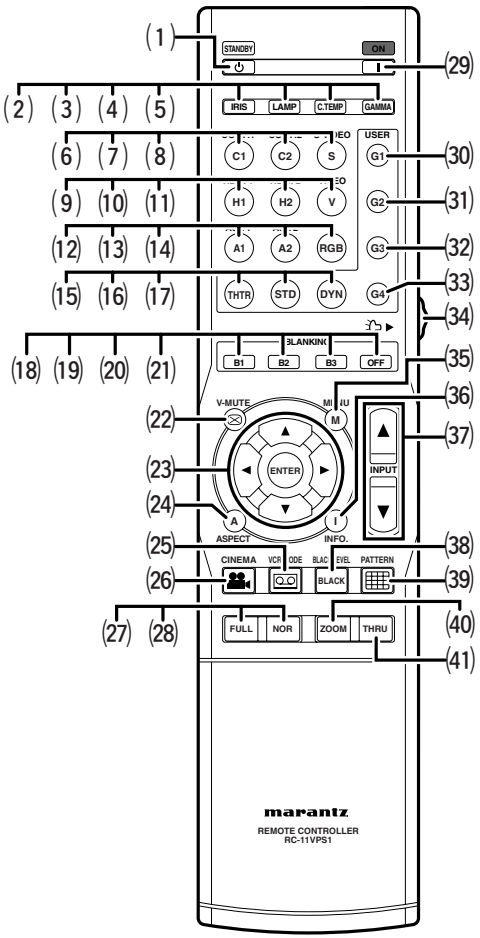
本体底面



1 アジャスターレバー （☞ P.13）
本機を持ち上げて、このレバーを右または左へ回すとアジャスターが下へ伸びます。高さ調整を行い、レバーを戻すとアジャスターが固定されます。

2 吊り金具取り付けネジ穴
本機を天井から吊るす場合に使用します。

リモコン



(1) STANDBY(スタンバイ)ボタン (☞ P.18)
本機の電源が入っているとき、スタンバイ(待機)状態にします。

(2) IRISボタン
レンズの絞り値のF6.0とF3.0を切り替えます。

(3) LAMP(ランプ)ボタン
ランプモードの通常と省電力を切り替えます。

(4) C.TEMPボタン
色温度の1／2／3／4／5／HBを切り替えます。

(5) GAMMAボタン
映像モードのUSERが選択されているとき、ガンマのシアター／スタンダード／ダイナミック／A／B／C／D／Eを切り替えます。

(6) COMP. 1 (コンポーネントビデオ入力1)ボタン (☞ P.16)
コンポーネントビデオ入力1(COMPONENT VIDEO IN 1)を選択します。

(7) COMP. 2 (コンポーネントビデオ入力2)ボタン (☞ P.16)
コンポーネントビデオ入力2(COMPONENT VIDEO IN 2)を選択します。

(8) S-VIDEO(Sビデオ入力)ボタン (☞ P.16)
Sビデオ入力(S-VIDEO IN)を選択します。

(9) HDMI 1ボタン (☞ P.16)
HDMI入力(HDMI 1)を選択します。

(10) HDMI 2ボタン (☞ P.16)
HDMI入力(HDMI 2)を選択します。

(11) VIDEO(ビデオ入力)ボタン (☞ P.16)
ビデオ入力(VIDEO IN)を選択します。

(12) A1ボタン
本製品では動作いたしません。

(13) A2ボタン
本製品では動作いたしません。

(14) RGB(RGB入力)ボタン (☞ P.16)
RGB 入力(RGB IN)を選択します。

(15) THEATER(THTR) (シアターモード選択)ボタン (☞ P.22)
シアターモードを選択します。
シアターモードは、黒の再現性が考慮された、映画ソフトをお楽しみいただくときにおすすめする映像モードです。
THTRボタンを続けて押すと、シアター1 → シアター2 → シアター3 → シアターデフォルトの順番で映像が切り替わります。

(16) STANDARD(STD)(スタンダードモード選択)ボタン (☞ P.22)
標準モードを選択します。
スタンダードモードは、標準的な映像をお楽しみいただける映像モードです。
STDボタンを続けて押すと、スタンダード1 → スタンダード2 → スタンダード3 → スタンダードデフォルトの順番で映像が切り替わります。

(17) DYNAMIC(ダイナミックモード選択)ボタン (☞ P.22)
ダイナミックモードを選択します。
ダイナミックモードは、視覚的にダイナミックな映像をお楽しみいただける映像モードです。**DYN**ボタンを続けて押すと、ダイナミック1 → ダイナミック2 → ダイナミック3 → ダイナミックデフォルトの順番で映像が切り替わります。

(18) B1ボタン (☞ P.27)
ブランキングメモリー1を選択します。

(19) B2ボタン (☞ P.27)
ブランキングメモリー2を選択します。

(20) B3ボタン (☞ P.27)
ブランキングメモリー3を選択します。

(21) OFFボタン (☞ P.27)
ブランキングメモリーをオフにします。

(22) V-MUTE(映像ミュート)ボタン
映像をブラック画面に切り替えます。もう一度押すと解除されます。

(23) ▲ / ▼ / ◀ / ▶ / ENTER (方向 / エンター)ボタン
上(UP)▲、下(DOWN)▼、左(LEFT)◀、右(RIGHT)▶ のいずれかの方向にボタンを押して、メニュー表示の項目を選択します。またENTERボタンを押すことで、選択したメニュー項目を確定します。

(24) ASPECT(アスペクト切替)ボタン (☞ P.16)
アスペクトを切り替えます。
ASPECTボタンを続けて押すと、フル → ノーマル → ズーム → V-ストレッチ → スルーの順番でアスペクトが切り替わります。

(25) VCR MODEボタン (☞ P.24)
ビデオモードのオンとオフを切り替えます。

(26) CINEMA(シネマモード)ボタン (☞ P.24)
2−3プルダウン機能のオート／オフを切り替えます。

(27) FULL(フルモード)ボタン (☞ P.16)
アスペクトをフルモードに切り替えます。

(28) NORMAL(ノーマルモード)ボタン (☞ P.16)
アスペクトをノーマルモードに切り換えます。

(29) ON(オン)ボタン (☞ P.16)
本機の電源をONにします。

(30) USER G1 (ユーザーモードG1)ボタン (☞ P.22)
ユーザーモードを選択します。
ユーザーモードは、お好みのガンマカーブで映像をお楽しみいただける映像モードです。
G1ボタンを続けて押すと、ユーザー1 → ユーザー2 → ユーザー3 の順番で映像が切り替わります。ガンマカーブの選択方法 (☞ P.23)

㉛ USER G2（ユーザーモードG2）ボタン（☞ P.22）
ユーザーモードを選択します。
ユーザーモードは、お好みのガンマカーブで映像をお楽しみいただける映像モードです。
G2ボタンを続けて押すと、ユーザー4 → ユーザー5 → ユーザー6 の順番で映像が切り替わります。ガンマカーブの選択方法（☞ P.23）

㉜ USER G3（ユーザーモードG3）ボタン（☞ P.22）
ユーザーモードを選択します。
ユーザーモードは、お好みのガンマカーブで映像をお楽しみいただける映像モードです。
G3ボタンを続けて押すと、ユーザー7 → ユーザー8 → ユーザー9 の順番で映像が切り替わります。ガンマカーブの選択方法（☞ P.23）

㉝ USER G4（ユーザーモードG4）ボタン
本製品では動作いたしません。

㉞ LIGHT（ライト）ボタン
全ボタンが約10秒間点灯します。

㉟ MENU（メニュー）ボタン（☞ P.19）
メニュー（※OSD画面）を表示します。
さらにもう一度押すと表示が消えます。
※OSD：On Screen Displayの略称です。本機の調整、設定を行うメニュー画面のことを意味します。

㊱ INFO.（インフォメーション）ボタン（☞ P.29）
各種設定情報を表示します。さらにもう一度押すと表示が消えます。

㊲ INPUT（入力信号切替）ボタン（☞ P.16）
入力信号を切り替えます。
▲▼ボタンを押すと、COMPONENT1 ↔ COMPONENT2 ↔ S-VIDEO ↔ VIDEO ↔ RGB ↔ HDMI 1 ↔ HDMI 2の順番で入力信号が切り替わります。

㊳ BLACK LEVELボタン（☞ P.24）
黒レベルを切り替えます。
アナログ信号入力時…0 IRE／7.5 IRE
HDMI信号入力時…エクスパンド／ノーマル

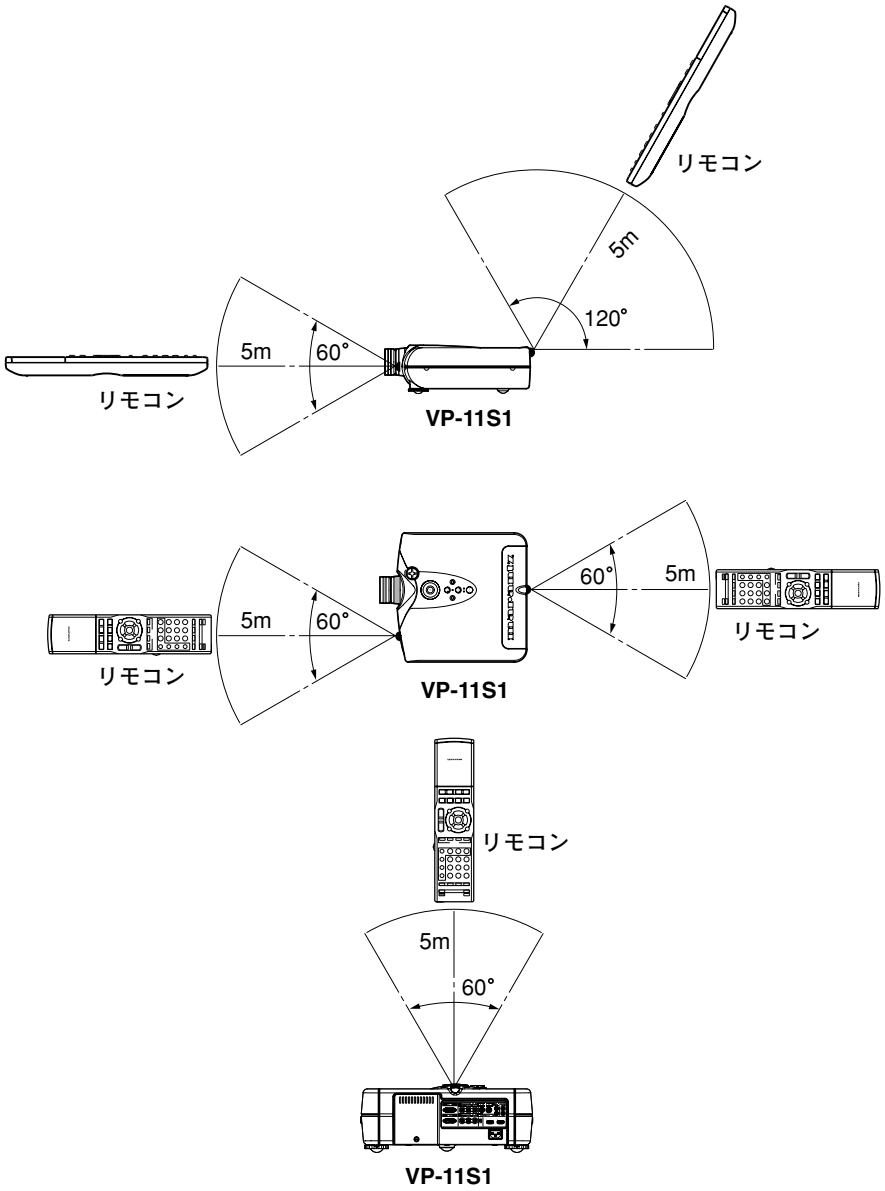
㊴ PATTERN（パターン）ボタン（☞ P.11）
ピント合わせ用のパターンを表示します。

㊵ ZOOM（ズームモード）ボタン（☞ P.16）
アスペクトをズームモードに切り替えます。

㊶ THROUGH（スルーモード）ボタン（☞ P.16）
アスペクトをスルーモードに切り換えます。

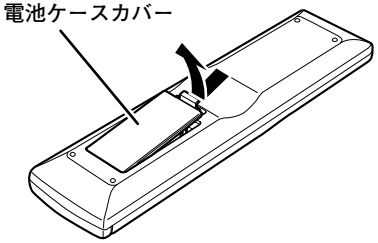
リモコンの操作範囲

リモコンと本機の操作距離は約 5m以内でご使用ください。リモコンをリモコン受光部と違う方向に向けたり、リモコンと受光部の間に障害物があると、操作ができなくなる場合がありますのでご注意ください。
また、リモコン受光部に強い光が当たった場合でも、操作ができないことがあります。

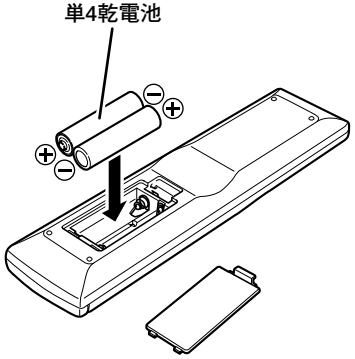


リモコンの電池の入れ方

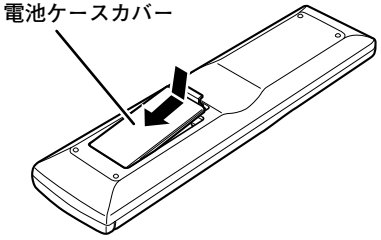
1. リモコン裏面の電池ケースカバーをはずします。



2. 単4乾電池2個を＋、－の表示にあわせて挿入します。



3. 電池ケースカバーを元通りに戻します。



注意 **乾電池は誤った使い方をすると液漏れや破裂することがありますので、次の点について特にご注意ください。**

- 乾電池はアルカリタイプをご使用ください。ニッカド、ニッケル水素、リチウムタイプはご使用できません。
- アルカリタイプとマンガンタイプの乾電池の併用も避けてください。
- 古い乾電池と新しい乾電池の併用は避けてください。
- 長時間使用しないときは、乾電池を取り出しておいてください。
- 乾電池が使えなくなったら、すぐに取り出してください。
- 乾電池は充電しないでください。
- 乾電池の＋、－の表示に合わせて挿入してください。
- 絶対に乾電池を火の中に入れないでください。
- ご不要になった電池を廃棄する場合は、各地の地方自治団体の指示（条例）に従って処理してください。

接続のしかた

❖ 接続にあたって

- 接続する前に、必ず本機および接続する機器の電源を切ってください。
- 接続する機器に適応した正しいケーブルをご使用ください。接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。
- 接続するときは、プラグを端子に確実に差し込んでください。確実に差し込まないと故障の原因になります。

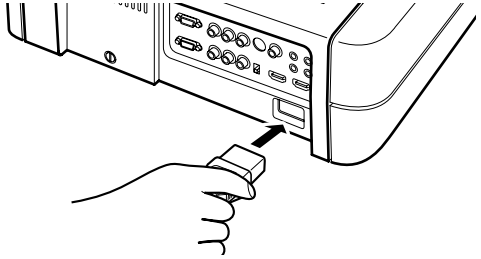
❖ ケーブルを抜く場合は

- 必ずプラグをもって引き抜いてください。ケーブルをもって引き抜くとケーブルを痛め接続不良の原因になります。

電源コードの接続

付属のAC電源コードを、電源コード接続端子に差し込んで、先端のプラグをコンセントに差し込んでください。
スタンバイインジケータが点灯し、スタンバイモードに入ります。

注意
- **AC電源ケーブルが電源コード接続端子にしっかりと差し込まれていることを確認してください。**
- **電源コードを接続する前に、必ずアースコードを取り付けてください。アースコードを取り外すときは、必ず電源コードのプラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。**



ビデオ機器との接続

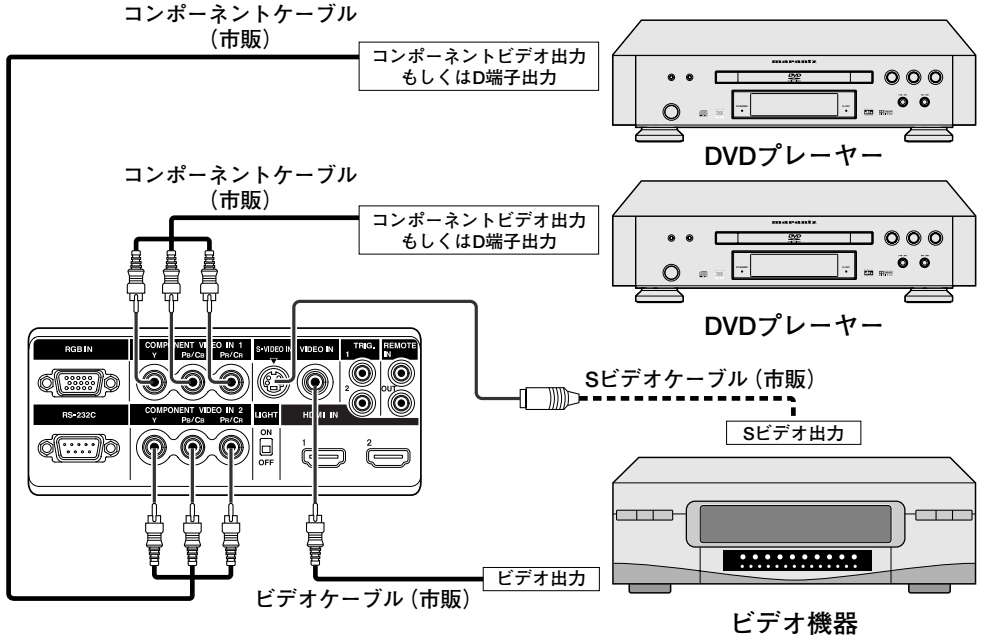
本機をビデオデッキ、DVDプレーヤ、またはその他のビデオ機器に接続します。

Sビデオまたはビデオ入力端子に、ビデオ機器を接続する場合

1. Sビデオケーブルの一方の端を本機のSビデオ入力端子に接続する、またはビデオケーブルの一方の端を本機のビデオ入力端子に接続します。
2. ケーブルのもう一方の端を、ビデオ機器のSビデオ出力端子またはビデオ出力端子に接続します。

コンポーネントビデオ入力1または2 端子に、DVDプレーヤーを接続する場合（同時接続可能）

1. コンポーネントビデオケーブルのピンジャックをそれぞれ、本機のコンポーネントビデオ入力端子1または2 に接続します。
2. ケーブルのもう一方のピンジャックを、DVDプレーヤーのコンポーネントビデオ出力端子に接続します。
3. ご使用するDVDプレーヤーがD端子出力しかない場合はD端子ーコンポーネントの変換ケーブルを使用して接続します。



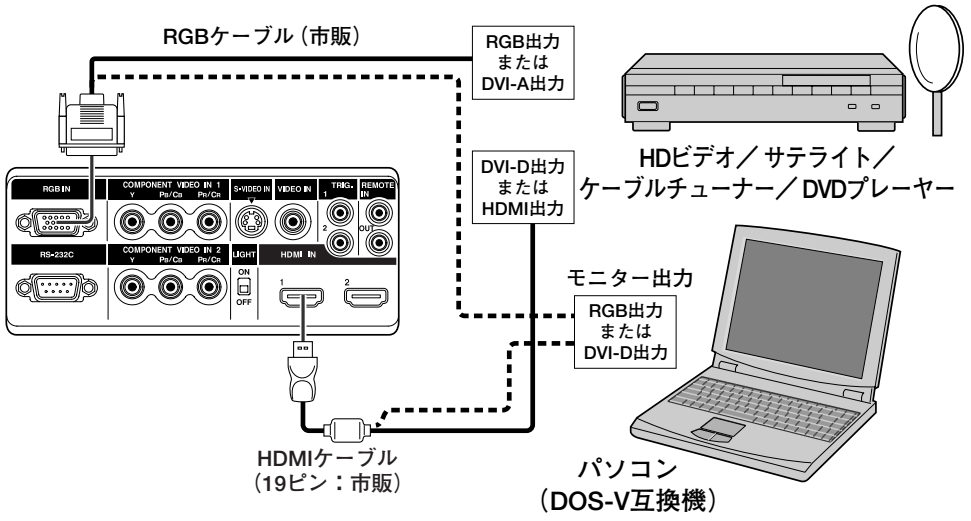
HDビデオ、DVDプレーヤー、サテライト、ケーブルチューナーまたはパソコンとの接続

本機のRGB入力端子に、HDビデオ、パソコンを接続できます。またHDMI入力端子には、DVDプレーヤー、サテライト、ケーブルチューナー、パソコンを接続できます。

1. RGBケーブル（またはHDMIケーブル）の一方の端を本機のRGB入力端子（またはHDMI入力端子）に接続します。
2. ケーブルのもう一方の端を、HDビデオ、パソコンのRGB出力端子またはサテライト、ケーブルチューナー、パソコンのHDMI出力端子に接続します。
3. DVI-A出力をご使用になるときはDVI-A－RGB変換ケーブル、DVI-D出力をご使用になるときはDVI-D－HDMI変換ケーブルをそれぞれご使用ください。

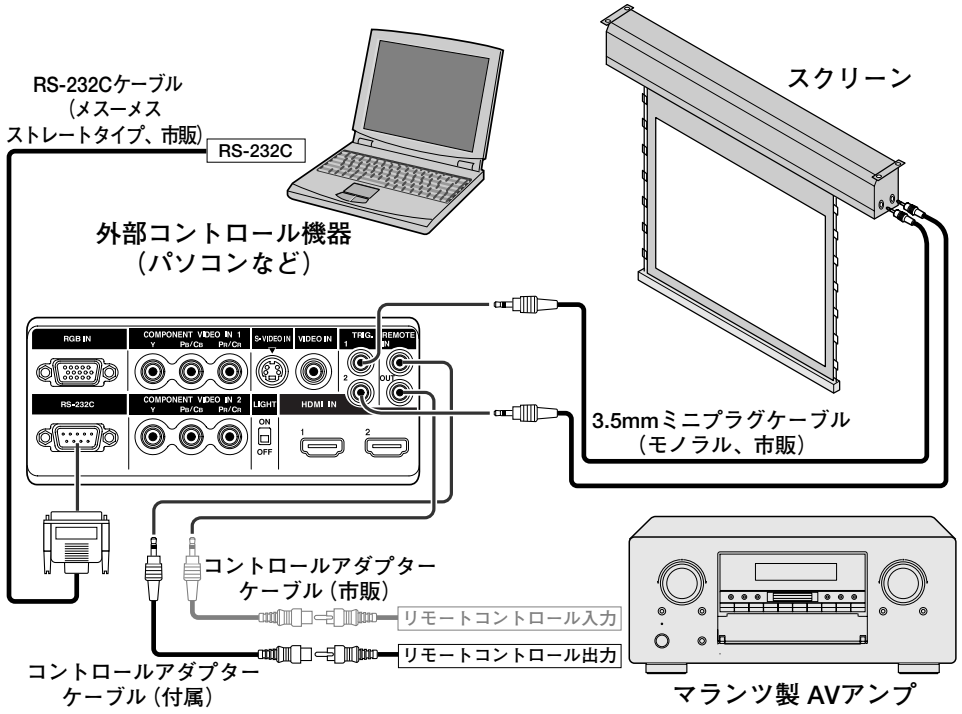
注意 **HDMI 端子に接続した機器からの映像を投射する場合、以下の手順で操作を行ってください。以下の手順を行わない場合は、映像に乱れを生じさせることがあります。本機と接続する機器のHDMI 端子の詳細については、その取扱説明書をよく読んでください。**

1. 本機の電源をONにします。
2. 本機の入力信号をHDMIにします。
3. 本機のHDMI端子に接続している機器（DVDプレーヤーなど）の電源をONにします。



本格的なホームシアターシステムの接続

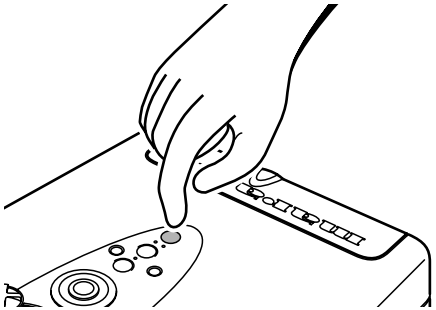
パソコンまたはマランツ製のAVアンプを使い、ホームシアターシステム全体を制御することができます。
下図のようなシステムを組まれる場合は、お買い上げ販売店または当社お客様ご相談センター、各営業所にご相談ください。

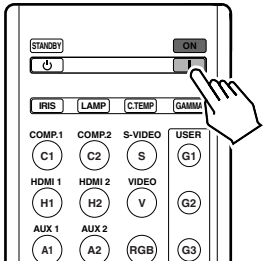


ご使用前の設定

電源を入れる

1. 付属のAC電源コードを接続してください。 （☞ P.9）
2. リモコンの **ON**ボタン、または本体の⏻/ **I** ボタンを押してください。ONインジケータが点灯します。





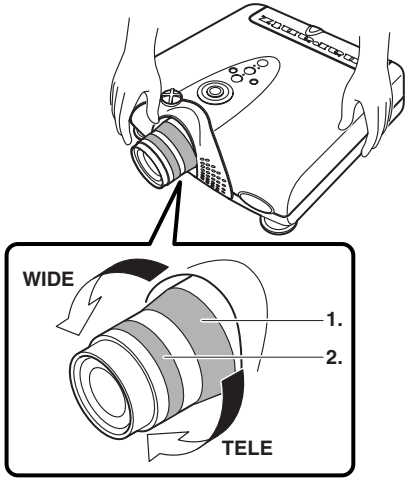
ズームとフォーカス調整

まず、スクリーンに適当な画像を投影します。

1. **ズームリング**を回して、投影画像の大きさを調整します。

   WIDE: 投影している画像を拡大（ズームアップ）します。

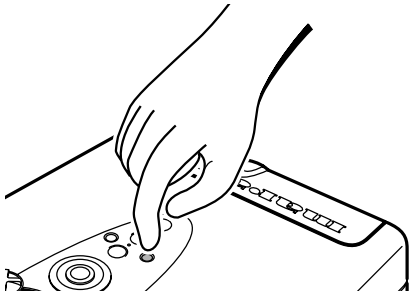
   TELE: 投影している画像を縮小（ズームダウン）します。
2. **フォーカスリング**を回して、フォーカス（ピント）を合わせます。

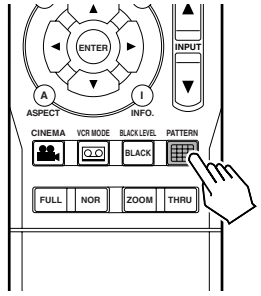


フォーカスの微調整

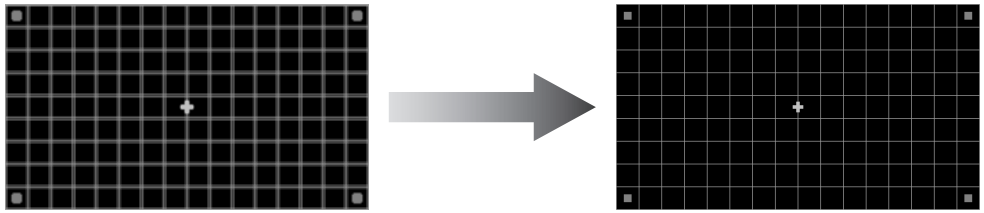
フォーカスパターン（ピント合わせ用テストパターン）を使い、フォーカス（ピント）の微調整ができます。

1. **PATTERN**ボタンを押して、フォーカスパターンをスクリーンに投影します。





2. **フォーカスリング**を回して、フォーカスを合わせます。
   下図のようにフォーカスパターンが最も鮮明になるように、フォーカスリングで調整してください。



3. もう一度、**PATTERN**ボタンを押して、フォーカスパターンを消します。フォーカスの微調整は完了です。

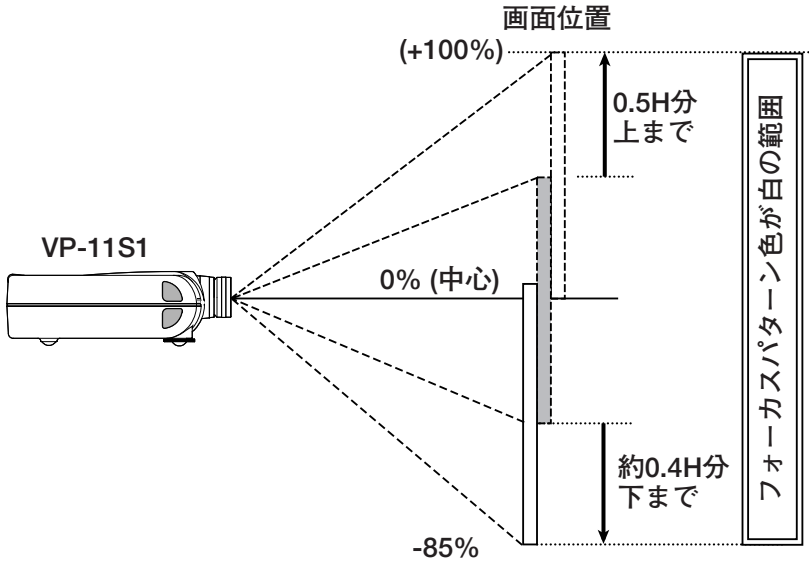
注意 **レンズシフト位置によるフォーカスパターンの色について** （☞ P.12）

フォーカスパターンはレンズシフトの位置によって2種類（2色）に変化します。
このフォーカスパターンの種類（色）によって投影画像の品質目安を確認することができます。フォーカスパターンが**白色**のときは最も光学性能が高く、投影される画像品位も最も高くなります。（標準レンズシフト範囲）最高品位で映像を楽しみたい場合はレンズシフトをこの範囲内で使用されることをお勧めいたします。
レンズシフトが上記の範囲外に位置した場合、フォーカスパターンは**緑色**に変化します。（拡張レンズシフト範囲）シフト量を大きくするに従って光学性能的には不利になっていきます。
また、同じレンズシフト位置でもズームポジションをWIDEからTELEに調整したほうが光学性能的に有利になります。

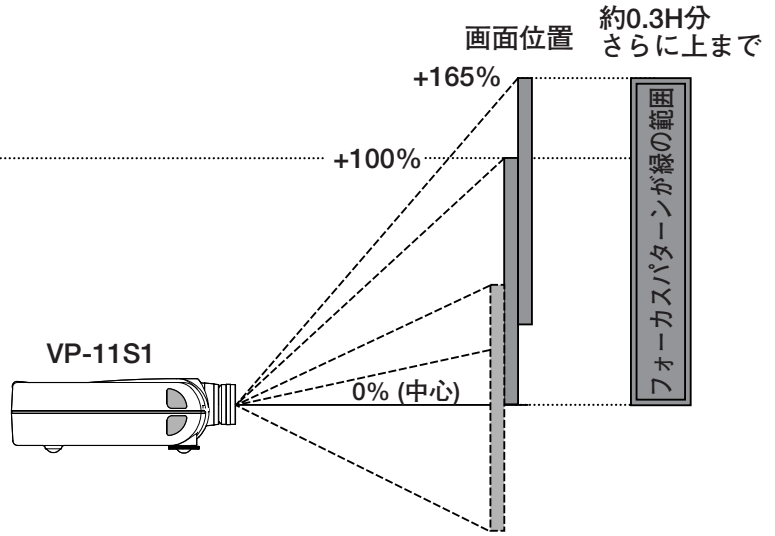
レンズシフト範囲

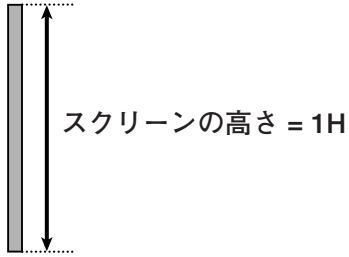
VP-11S1はそれぞれ下図の範囲でレンズシフトすることが可能です。レンズシフト位置によってフォーカスパターン色が変化することについては11ページの「レンズシフト位置によるフォーカスパターンの色について」をご覧下さい。

❖ VP-11S1標準レンズシフト範囲（-85%～+100%）



❖ VP-11S1拡張レンズシフト範囲（+100%～+165%）



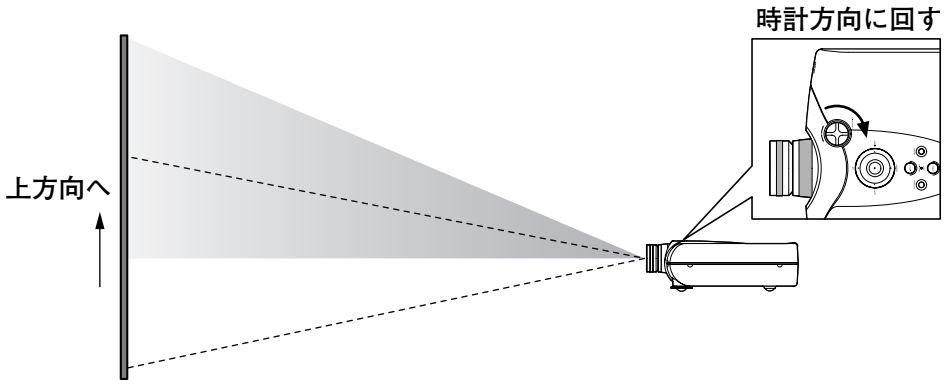


注意 拡張レンズシフト範囲（フォーカスパターンが緑の範囲）で使用する場合、画面の隅が暗くなったり、歪んだりする場合があります。

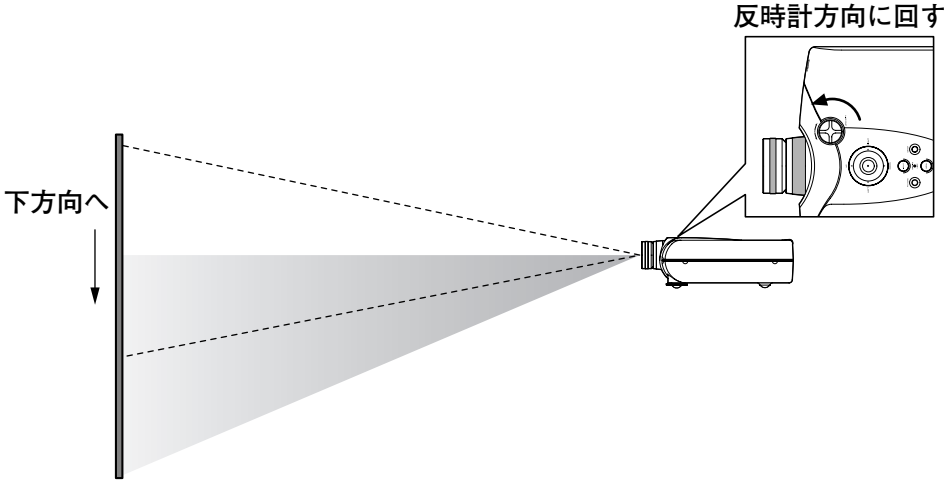
投影画像の位置を調整

投影画像の位置は、**レンズシフトノブ**で調整できます。

❖ レンズシフトノブを時計方向に回すと、投影画像の位置が上方向へ移動します。

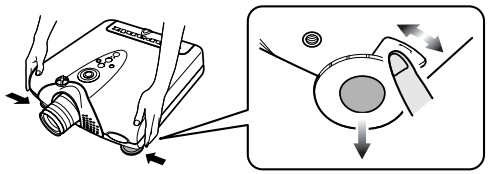


❖ レンズシフトノブを反時計方向に回すと、投影画像の位置が下方向へ移動します。

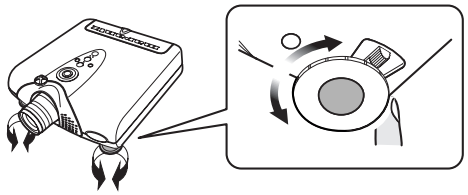


本機の高さ調節（アジャスター調整）

本機のアジャスターの高さを変えることで、投影画像の位置を調整できます。



1. アジャスターレバーを右または左にシフトし、アジャスターが動くようにします。
   慎重にゆっくりと本機を上へ持ち上げてください。



2. 投影位置を決めた後、アジャスターレバーを元の位置に戻し、アジャスターを固定します。
   アジャスターが固定されたことを確認し、本機から手を離してください。
3. アジャスターを回転させ、高さの微調整を行います。

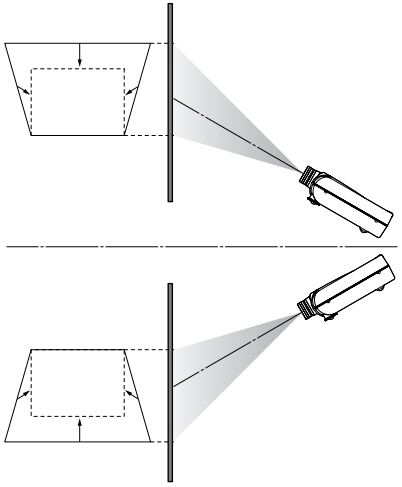
❖ アジャスターの高さを元に戻す

本機を少し持ち上げた状態で、アジャスターレバーを右または左にシフトし、ゆっくり本機を下ろしてください。

画像の台形ひずみを補正

投射した画像の形状がひずんだ場合、メニュー項目の「表示設定」にあるキーストンを使い補正することができます。「表示設定の調整」を参照 （☞ P.26）
キーストーンを使用して台形ひずみを補正した場合、映像補正するために、多少映像の輪郭が階段状に見えます。

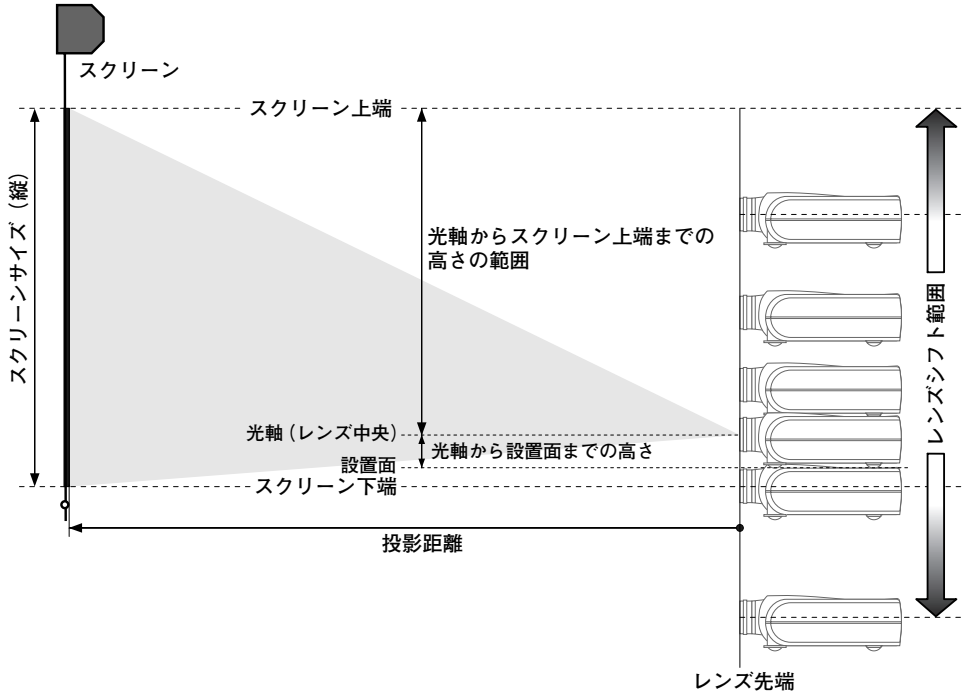
❖ キーストン調整



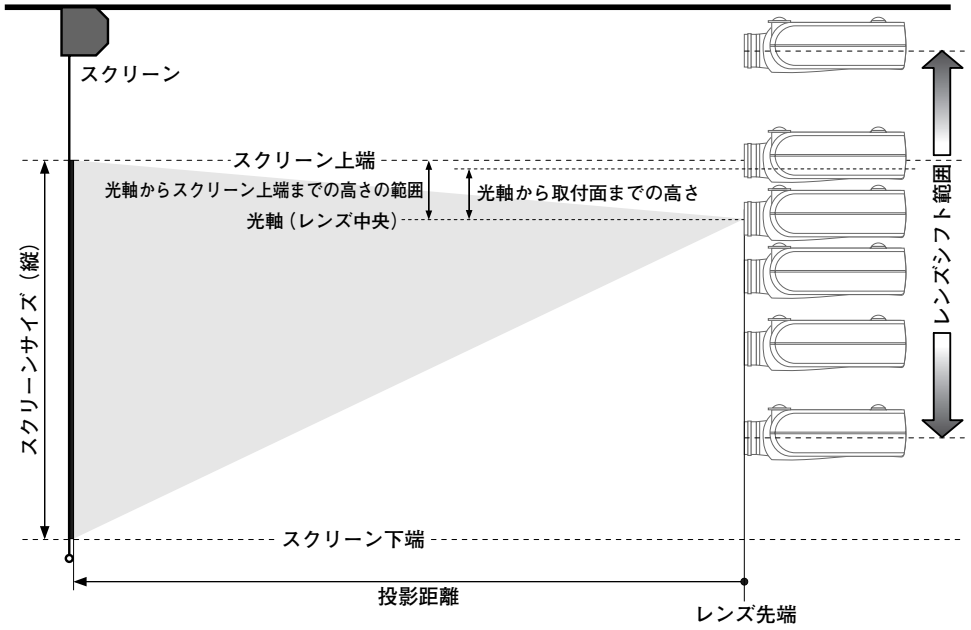
設置について

設置のしかた

❖ 卓上に設置する場合

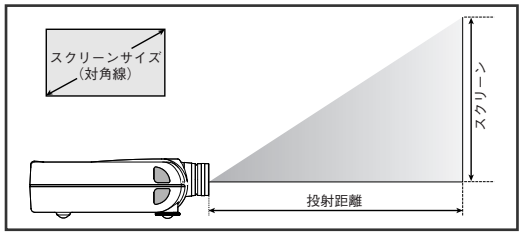


❖ 天井に設置する場合



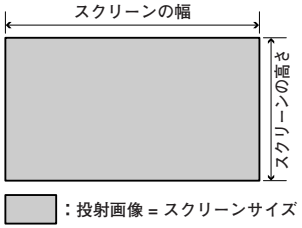
注意
- 本機を天井に設置する場合は、特別な技術が必要となります。安全のため、お客様自身での取り付けは行わないでください。詳しくはお買い上げ販売店または、専門の業者にご相談ください。
- 本機の電源が入っているとき、レンズをのぞかないでください。目に悪影響を与えることがあります。

スクリーンサイズと投影距離



❖ 16：9スクリーン

16：9の投射画像を16：9のスクリーンに映す場合。



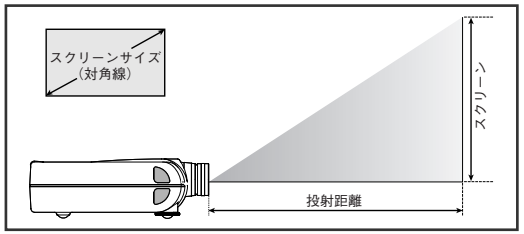
16:9 スクリーンサイズ (1.77:1 縦横比)			投射距離	
対角距離	幅	高さ	最小	最大
インチ	mm	mm	mm	mm
70	1,550	872	2,243	3,276
72	1,594	897	2,308	3,371
80	1,771	996	2,571	3,751
82	1,815	1,021	2,636	3,846
84	1,860	1,046	2,702	3,941
90	1,992	1,121	2,899	4,226
92	2,037	1,146	2,964	4,321
100	2,214	1,245	3,227	4,701
106	2,347	1,320	3,423	4,986
110	2,435	1,370	3,555	5,176
120	2,657	1,494	3,883	5,651
123	2,723	1,532	3,981	5,794
133	2,944	1,656	4,309	6,269
135	2,989	1,681	4,375	6,364
150	3,321	1,868	4,867	7,076
170	3,763	2,117	5,523	8,026
200	4,428	2,491	6,507	9,451
250	5,535	3,113	8,147	11,826

投射距離の計算方法（単位： mm）

最小 = 32.8 x スクリーンサイズ - 53.4

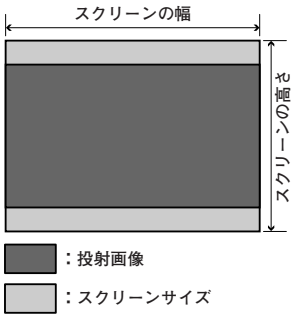
最大 = 47.5 x スクリーンサイズ - 48.8

注意：設置する場合、上記表の投射距離に±5%の誤差があることを考慮してください。



❖ 4：3スクリーン

16：9の投射画像を4：3のスクリーンに映す場合。



4:3 スクリーンサイズ (1.33:1 縦横比)			投射距離	
対角距離	幅	高さ	最小	最大
インチ	mm	mm	mm	mm
70	1,422	1,067	2,754	4,018
72	1,463	1,097	2,834	4,134
80	1,626	1,219	3,155	4,599
82	1,666	1,250	3,235	4,715
84	1,707	1,280	3,315	4,832
90	1,829	1,372	3,556	5,180
92	1,869	1,402	3,636	5,296
100	2,032	1,524	3,957	5,761
106	2,154	1,615	4,197	6,110
110	2,235	1,676	4,358	6,342
120	2,438	1,829	4,759	6,923
123	2,499	1,875	4,879	7,098
133	2,703	2,027	5,280	7,679
135	2,743	2,057	5,360	7,795
150	3,048	2,286	5,962	8,666
170	3,454	2,591	6,764	9,828
200	4,064	3,048	7,967	11,571
250	5,080	3,810	9,972	14,476

投射距離の計算方法（単位： mm）

最小 = 40.1 x スクリーンサイズ - 53.4

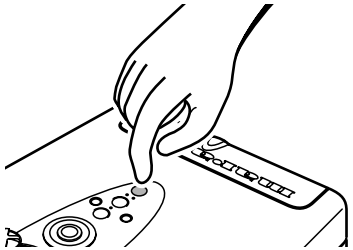
最大 = 58.1 x スクリーンサイズ - 48.8

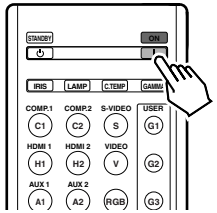
注意：設置する場合、上記表の投射距離に±5%の誤差があることを考慮してください。

基本的な使いかた

電源を入れる

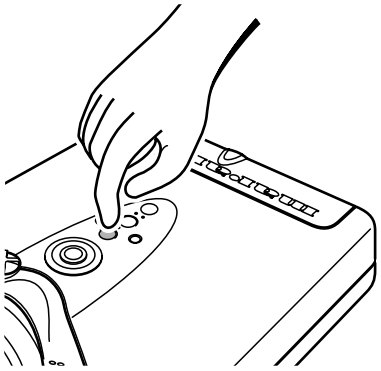
リモコンの**ON**ボタン、または本体の ⏻ / I ボタンを押してください。ONインジケータが点灯します。

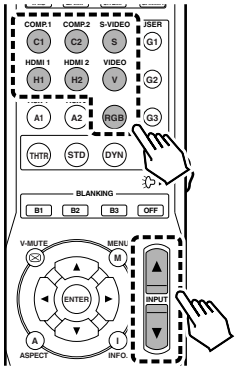




入力信号を選択する

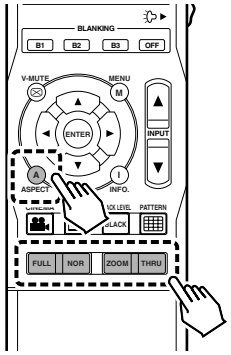
本機に接続された入力信号を選択します。
本機の**INPUT**ボタンまたはリモコンの**INPUT▲**ボタンを続けて押すと、COMPONENT 1→COMPONENT2→S-VIDEO→VIDEO→RGB→HDMI 1→HDMI 2の順番で入力信号が切り替わります。リモコンの**INPUT▼**ボタンを続けて押すと、逆の順番で入力信号が切り替ります。またリモコンの**COMP.1**ボタン、**COMP.2**ボタン、**S-VIDEO**ボタン、**VIDEO**ボタン、**RGB**ボタン、**HDMI 1**ボタン、**HDMI 2**ボタンのいずれかを直接押すことで入力信号を切り替えられます。





アスペクト（縦横比）モードを選択する

リモコンを使い、投影画像のアスペクト(縦横比)モードを5種類の中から選択できます。
リモコンの**ASPECT**ボタンを続けて押すと、フル→ノーマル→ズーム→V-ストレッチ→スルーの順番でアスペクトが切り替わります。
またリモコンの**FULL**ボタン、**NORMAL**ボタン、**ZOOM**ボタン、**THROUGH**ボタンのいずれかを直接押すことでアスペクトを切り替えられます。またメニュー画面から選択することもできます。(☞ **P.24**)

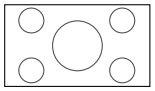


16：9スクリーンをご使用の場合

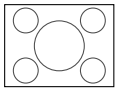
- アスペクト比4：3のビデオソースを投影する場合、ズーム、ノーマル、フルの各モードでご使用ください。
- 1080i、1035i、720pのような、アスペクト比16：9 のビデオソースを投影する場合、フルモードでご使用ください。
- 480i、480p、576i、576pのアスペクト比2.35：1のスクイーズ映像を投影する場合、ズームモードでご使用ください。
- 720p、1080i、1080pのアスペクト比2.35：1のスクイーズ映像を投影する場合、V-ストレッチモードでご使用ください。

❖ オリジナル画像

アスペクト比 16 : 9 ビデオソース

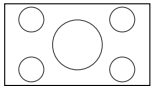


アスペクト比 4 : 3 ビデオソース

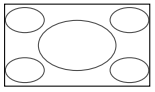


❖ フルモード

16：9の横長の画像が正確な縦横比で投影されます。

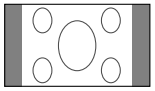


4：3の画像が横に引き伸ばされて投影されます。

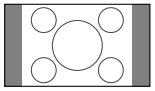


❖ ノーマルモード

16：9の画像を4：3の画像に縮小して投影されます。

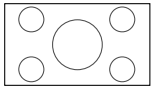


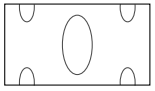
4：3の画像が正確な縦横比で投影されます。



❖ ズームモード

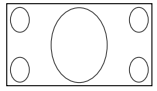
2.35：1の画像が画面全体に表示されます。この機能は、480i、480p、576i、576pのスクイーズ映像が入力されたとき最適に動作します。

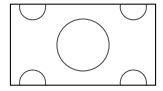




❖ V-ストレッチモード

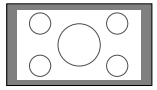
2.35：1の画像が画面全体に表示されます。このとき縦横比は縦に引き伸ばされて表示されます。この機能は、720p、1080i、1080p信号が入力されたとき、最適に動作します。

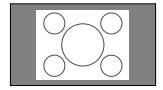




❖ スルーモード

RGB／ビデオ信号と同じ解像度で画像が表示されます。



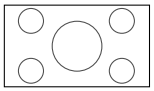


4：3スクリーンをご使用の場合

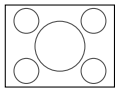
- アスペクト比4：3のビデオソースを投影する場合、ズーム、ノーマル、フルの各モードでご使用ください。
- 1080i、1035i、720pのような、アスペクト比16：9 のビデオソースを投影する場合、フルモードでご使用ください。
- 480i、480p、576i、576pのアスペクト比2.35：1のスクイーズ映像を投影する場合、ズームモードでご使用ください。
- 720p、1080i、1080pのアスペクト比2.35：1のスクイーズ映像を投影する場合、V-ストレッチモードでご使用ください。

❖ オリジナル画像

アスペクト比 16 : 9 ビデオソース

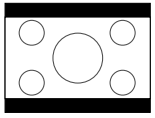


アスペクト比 4 : 3 ビデオソース

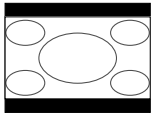


❖ フルモード

16：9の横長の画像が正確な縦横比で投影されます。

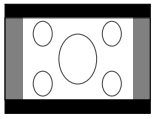


4：3の画像が横に引き伸ばされて投影されます。

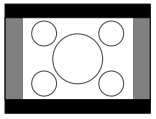


❖ ノーマルモード

16：9の画像を4：3の画像に縮小して投影されます。

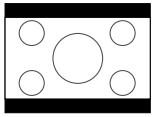


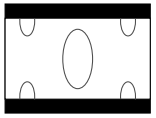
4：3の画像が正確な縦横比で投影されます。



❖ ズームモード

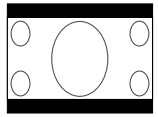
2.35：1の画像が画面全体に表示されます。この機能は、480i、480p、576i、576pのスクイーズ映像が入力されたとき最適に動作します。

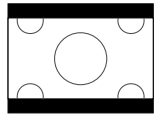




❖ V-ストレッチモード

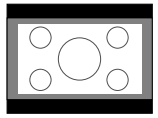
2.35：1の画像が表示領域全体に表示されます。この機能は、720p、1080i、1080p信号が入力されたとき、最適に動作します。

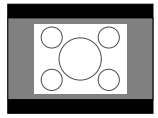




❖ スルーモード

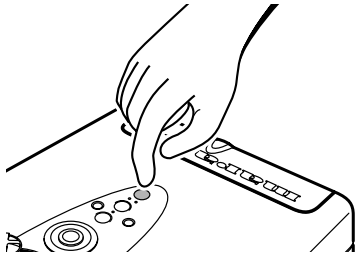
RGB／ビデオ信号と同じ解像度で画像が表示されます。

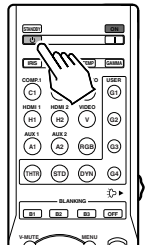




電源を切る

1. リモコンの **STANDBY**ボタン、または本機の⏻ **/ I**ボタンを押します。
2. 約1分間ファンが動作し本機内部を冷却します。この間、本機のONインジケータが青く点滅し、本機ボタンおよびリモコンボタンの操作を受けつけません。ファンが停止した後、ONインジケータの点滅は消え、本機はスタンバイ状態になり、スタンバイインジケータが緑色に点灯します。





注意

- **スタンバイ状態になるまでファンが動作し、内部を冷却します。本機がスタンバイ状態になるまで、電源コードは抜かないでください。**
- **電源「入」の状態で、電源コードを抜かないでください。故障の原因になります。**
- **ワーニングインジケーターが黄色に点灯または点滅したときは、ファンが停止したことを確認して電源コードをコンセントから抜いてください。**
- **電源を切った直後に、本機の⏻ / I ボタンまたはリモコンのONボタンを押しても、電源は入りません。スタンバイ状態になったことを確認してから本機の⏻ / I ボタンまたはリモコンのONボタンを押してください。**
- **本機のスタンバイ状態は完全に電源が切れた状態ではありません。長時間使用しない場合は、上記に従って電源コードをコンセントから抜いてください。**

メニューの使いかた

メニューの構成

メインメニュー　メニュー項目

映像モード ☞P.22
- シアター　デフォルト* / 1 / 2 / 3
- スタンダード　デフォルト* / 1 / 2 / 3
- ダイナミック　デフォルト* / 1 / 2 / 3
- ユーザー　1* / 2 / 3 / 4 / 5 / 6 / 7 / 8 / 9

画質調整 ☞P.23
- ガンマ
  - シアター: A
  - スタンダード: B
  - ダイナミック: C
  - D
  - E
- コントラスト　-50 ↔0*↔ 50
- 明るさ　-50 ↔0*↔ 50
- 色の濃さ　-50 ↔0*↔ 50
- 色あい　赤10 ↔0*↔緑10
- シャープネス　0*←――→ 50
- 色温度　1 / 2 / 3* / 4 / 5 / HB
- ランプモード　通常* / 省電力
- アイリス　F3.0 / F6.0*

ファインメニュー 1 ☞P.24
- ノイズリダクション　0*←――→ 50
- 赤ゲイン　-50 ↔0*↔ 50
- 緑ゲイン　-50 ↔0*↔ 50
- 青ゲイン　-50 ↔0*↔ 50
- 赤バイアス　-50 ↔0*↔ 50
- 緑バイアス　-50 ↔0*↔ 50
- 青バイアス　-50 ↔0*↔ 50
- 輝度信号ゲイン　-50 ↔0*↔ 50
- 色差信号ディレイ　-5 ↔ 0* ↔ 5

ファインメニュー 2 ☞P.24
- アスペクト
  - フル*
  - ノーマル
  - ズーム
  - V-ストレッチ
  - スルー
- シネマモード　オート* / オフ
- ビデオモード　オン / オフ*
- 黒レベル　0 IRE* / 7.5 IRE

HDMI入力時は、エクスパンド／ノーマル*と表示されます。

- FRC　オート* / オン
- CEC　オン / オフ*
- 垂直シフト　-50 ↔0*↔ 50
- オーバースキャン　有効* / 無効

メインメニュー　メニュー項目

入力信号設定 ☞P.25
- コンポーネント 1
  - 720p: オート*
  - 1035i: 480i/576i
  - 1080i: 480p
  - 1080p: 540p, 576p
- コンポーネント 2
  - 720p: オート*
  - 1035i: 480i/576i
  - 1080i: 480p
  - 1080p: 540p, 576p
- S-ビデオ: オート*, NTSC, PAL, SECAM
- ビデオ: オート*, NTSC, PAL, SECAM
- RGB
  - 720p: オート*
  - 1035i: 480i/576i
  - 1080i: 480p
  - 1080p: 540p, 576p
- HDMI 1
  - 1035i: オート*
  - 1080i: 480i/576i
  - 1080p: 480p
  - 576p
  - 720p
- HDMI 2
  - 1035i: オート*
  - 1080i: 480i/576i
  - 1080p: 480p
  - 576p
  - 720p

メインメニュー　メニュー項目

RGB/HD 調整 ☞P.25
- モード: オート*, メモリー1, メモリー2, メモリー3
- 再調整　実行 / 戻る*
- 水平サイズ　0*←――→25
- 垂直サイズ　0*←――→25
- 水平位置　-50 ↔ 0* ↔50
- 垂直位置　-10 ↔ 0* ↔10
- 位相　-10 ↔ 0* ↔10
- クランプ位置　-50 ↔ 0* ↔50
- クランプ幅　-50 ↔ 0* ↔50

HDMI ☞P.26
- CSC HDMI 1: オート*, RGB, YCBCR 4:4:4, YCBCR 4:2:2, YPBPR 4:4:4, YPBPR 4:2:2
- CSC HDMI 2: オート*, RGB, YCBCR 4:4:4, YCBCR 4:2:2, YPBPR 4:4:4, YPBPR 4:2:2
- ディープカラー HDMI 1: オート*, 8bit, 10bit, 12bit
- ディープカラー HDMI 2: オート*, 8bit, 10bit, 12bit

表示設定 ☞P.26
- キーストーン　-25 ↔ 0* ↔25
- スケール　-100←――→0*
- 水平サイズ　-100←――→0*
- 水平位置　-50 ↔0*↔ 50
- 垂直位置　-50 ↔0*↔ 50
- 設置モード: フロント*, リア, フロント天吊り, リア天吊り

メインメニュー　メニュー項目

OSD/ブランキング ☞P.26
- メニュー位置
  - 左上*
  - 右: 上
  - 左下: 右上
  - 下: 左
  - 右下: 中
- ステータスOSD　有効* / 無効
- パワーオフ確認　有効 / 無効*
- ブランキングメモリー　オフ* / 1 / 2 / 3
- ブランキング　上　0*←――→100
- ブランキング　下　0*←――→100
- ブランキング　左　0*←――→100
- ブランキング　右　0*←――→100

初期設定 ☞P.27
- オートパワーオフ　有効 / 無効*
- トリガー2フル　オン* / オフ
- トリガー2ノーマル　オン* / オフ
- トリガー2ズーム　オン* / オフ
- トリガー2 V-ストレッチ　オン* / オフ
- トリガー2スルー　オン* / オフ
- リモートコントロール　ワイヤレス* / ワイヤード
- ランプ時間リセット　実行 / 戻る
- オールリセット　実行 / 戻る

*** 初期設定**

信号に対する機能一覧

		入力信号無	入力信号有								
		全INPUT	VIDEO or S-VIDEO		COMPONENT			RGB			HDMI
			NTSC	PAL/SECAM	480i/576i	480p/576p	1080i/720p/1080p/540p	480i/576i	480p/576p	他	
映像モード	シアター	―	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	スタンダード	―	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	ダイナミック	―	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	ユーザー	―	●	●	●	●	●	●	●	●	●
画質調整	ガンマ	―	※1	※1	※1	※1	※1	※1	※1	※1	※1
	コントラスト	―	※9	※9	※9	※9	※9	※9	※9	※9	※9
	明るさ	―	※9	※9	※9	※9	※9	※9	※9	※9	※9
	色の濃さ	―	※9	※9	※9	※9	※9	―	―	―	※9
	色あい	―	※9	※9	※9	※9	※9	―	―	―	※9
	シャープネス	―	※9	※9	※9	※9	※9	※9	※9	※9	※9
	色温度	―	※9	※9	※9	※9	※9	※9	※9	※9	※9
	ランプモード	―	※9	※9	※9	※9	※9	※9	※9	※9	※9
	アイリス	―	※9	※9	※9	※9	※9	※9	※9	※9	※9
ファインメニュー 1	ノイズリダクション	―	※9	※9	※9	※9	※9	※9	※9	※9	※9
	赤ゲイン	―	※9	※9	※9	※9	※9	※9	※9	※9	※9
	緑ゲイン	―	※9	※9	※9	※9	※9	※9	※9	※9	※9
	青ゲイン	―	※9	※9	※9	※9	※9	※9	※9	※9	※9
	赤バイアス	―	※9	※9	※9	※9	※9	※9	※9	※9	※9
	緑バイアス	―	※9	※9	※9	※9	※9	※9	※9	※9	※9
	青バイアス	―	※9	※9	※9	※9	※9	※9	※9	※9	※9
	輝度信号ゲイン	―	※9	※9	※9	―	―	―	―	―	―
	色差信号ディレイ	―	※9	※9	※9	―	―	―	―	―	―
ファインメニュー 2	アスペクト	―	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	シネマモード	―	●	●	●	―	※2	●	―	※2	※2
	ビデオモード	●	●	●	●	―	―	―	―	―	―
	黒レベル	●	●	●	●	●	●	●	●	※10	●
	FRC	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	CEC	―	―	―	―	―	※3	―	―	※3	※3
	垂直シフト	―	※4	※4	※4	※4	※4	※4	※4	※4	※4
	オーバースキャン	―	●	●	●	●	―	●	●	―	※7
RGB/HD調整	モード	―	―	―	―	―	●	―	―	●	●
	再調整	―	―	―	―	―	※5	―	―	※5	※5
	水平サイズ	―	―	―	―	―	※6	―	―	※6	※6　※11
	垂直サイズ	―	―	―	―	―	※6	―	―	※6	※6　※11
	水平位置	―	―	―	―	―	※5	―	―	※5	※5　※11
	垂直位置	―	―	―	―	―	※5	―	―	※5	※5　※11
	位相	―	―	―	―	―	※5	―	―	※5	―
	クランプ位置	―	―	―	―	―	※5	―	―	※5	―
	クランプ幅	―	―	―	―	―	※5	―	―	※5	―

		入力信号無	入力信号有								
		全INPUT	VIDEO or S-VIDEO		COMPONENT			RGB			HDMI
			NTSC	PAL/SECAM	480i/576i	480p/576p	1080i/720p/ 1080p/540p	480i/576i	480p/576p	他	
HDMI	CSC HDMI 1	●	—	—	—	—	—	—	—	—	●
	CSC HDMI 2	●	—	—	—	—	—	—	—	—	●
	ディープカラーHDMI 1	●	—	—	—	—	—	—	—	—	●
	ディープカラーHDMI 2	●	—	—	—	—	—	—	—	—	●
表示設定	キーストーン	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	スケール	—	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	水平サイズ	—	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	水平位置	—	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	垂直位置	—	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	設置モード	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
OSD/ブランキング	メニュー位置	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	ステータスOSD	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	パワーオフ確認	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	ブランキングメモリー	—	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	ブランキング　上	—	※8	※8	※8	※8	※8	※8	※8	※8	※8
	ブランキング　下	—	※8	※8	※8	※8	※8	※8	※8	※8	※8
	ブランキング　左	—	※8	※8	※8	※8	※8	※8	※8	※8	※8
	ブランキング　右	—	※8	※8	※8	※8	※8	※8	※8	※8	※8
初期設定	オートパワーオフ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	トリガー2フル	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	トリガー2ノーマル	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	トリガー2ズーム	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	トリガー2 V-ストレッチ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	トリガー2スルー	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	リモートコントロール	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	ランプ時間リセット	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	オールリセット	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

※1 映像モードでユーザーが選択されたときのみ、選択可能になります。
※2 入力信号がインターレース信号のときのみ有効になります。（入力信号がプログレッシブ信号の場合無効です）
※3 入力信号が1035i／1080i信号のときのみ有効になります。
※4 HD信号ではアスペクトがV-ストレッチのとき有効になります。それ以外の信号はアスペクトがズームまたはV-ストレッチのとき有効になります。
※5 RGB/HD調整のモードがメモリーのとき有効になります。
※6 RGB/HD調整のモードがメモリーのとき有効になります。ただしアスペクトがスルーまたはV-ストレッチのときは例外的に無効になります。
※7 入力信号が480i/pもしくは576i/pのとき有効になります。
※8 OSD/ブランキングのブランキングメモリーでメモリーが選択されている時有効になります。
※9 映像モードがデフォルトのとき、選択できません。
※10 入力信号が540p／720p／1035i／1080i／1080pのとき選択可能になります。
※11 入力信号が480i／pもしくは576i／pのとき無効になります。

映像モードについて

本機にはシアター、スタンダード、ダイナミック、ユーザーの4つの映像モードがあります。シアター、スタンダード、ダイナミックの映像モードでは、マランツがお勧めする画質にあらかじめ設定されています。ユーザーモードは内蔵している8つのガンマカーブからお好みのものを登録することができます。
またシアター、スタンダード、ダイナミックモードでは、画質調整をメモリーするインデックスが3つあります。同じくユーザーモードでは9つあり、合計で18個のインデックスを使用できます。

映像モード	インデックス
シアター	デフォルト, 1, 2, 3
スタンダード	デフォルト, 1, 2, 3
ダイナミック	デフォルト, 1, 2, 3
ユーザー	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9

- **シアター　　：映画ソフトに最適な、黒の再現性を考慮したモードです。**
- **スタンダード：通常の映像ソフトに適したモードです。**
- **ダイナミック：視覚的にダイナミックな映像ソフトに適したモードです。**
- **ユーザー1～9：お好みのガンマカーブに設定できるモードです。(☞ P.23)**

– 映像モードを選ぶ

映像モードの選択は、メニュー画面から選ぶ方法とリモコンの各映像モードボタン（**THTR**ボタン、**STD**ボタン、**DYN**ボタン）から選ぶ方法の2種類があります。リモコンの映像モードボタンから選ぶ場合には、必ずメニュー画面を表示しない状態でお好みの映像モードボタンを任意の回数押して選択してください。(☞ P.6)
メニュー画面から選ぶ場合、以下の手順に従い映像モードを選びます。

1. **MENU**ボタンを押してメニュー画面を表示します。
2. ▲/▼ボタンを使い、メニュー画面の一番上にある映像モード名が表示されているところを選びます。
3. ここで**ENTER**ボタンを押すと映像モードの選択画面になります。▲/▼/▶/◀ボタンを使いお好みの映像モードを選択します。
4. 選んだ映像モードを決定するには、**ENTER**ボタンを押します。その後元のメニュー画面に戻ります。

– インデックスに記憶する

メインメニュー内の「画質調整」および「ファインメニュー1」の各調整内容は、現在選択している映像モードごとに自動的に記憶されます。最初に映像モードとインデックスを選択してから、調整を行ってください。

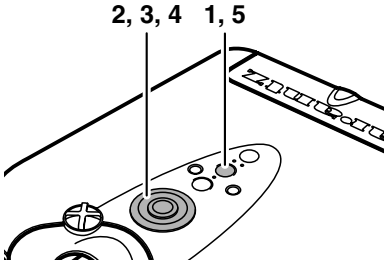
注意 **• デフォルトに設定した場合、メニュー内の「画質調整」「ファインメニュー1」を選択できません。**

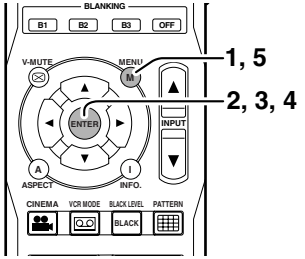
メニューの操作方法

本機はメニューを使い簡単に各種の調整、設定をすることができます。

1. **MENU**ボタンを押してください。メニュー画面が表示されます。

2. ▲ / ▼ ボタンを使い、設定または調整したいメインメニュー(画質調整、ファインメニュー1、ファインメニュー2、入力信号設定、RGB/HD調整、表示設定、OSD/ブランキング、初期設定)を選択し ▶ ボタンを押します。
   映像モードの選択は「映像モードについて」をご覧下さい。(☞ P.22)
3. 次に▲ / ▼ ボタンを使い、設定または調整したいメニュー項目を選択し ▶ ボタンを押します。
4. ▲ / ▼ / ◀ / ▶ ボタンを使い、各メニュー項目の設定または調整を行います。
   • 各メニュー項目の設定および調整の内容は、メニュー画面のメニュー項目右側に全て表示されています。
5. メニューを終了するには、もう一度**MENU**ボタンを押します。メニュー画面が消えます。





– 調整バー

メニュー画面の右端に「▮」が表示されるメニュー項目は、▶ボタンで調整モードに入ります。調整モードに入るとメニュー画面が消え、画面下部に以下のような調整バーのみが表示されます。◀／▶ボタンで、お好みの値に調整します。メニュー画面に戻るには▲ボタンを押します。

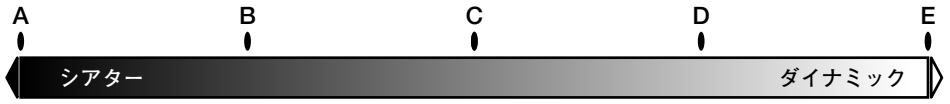
画質調整をする

各映像モードの画質をお好みに合わせて調整することができます。画質の調整内容はメモリーされます。

メニュー項目	調整範囲
ガンマ	A、B、C、D、E、シアター、スタンダード、ダイナミック
コントラスト	-50 ◄► 0 ◄► 50 弱い　デフォルト　強い
明るさ	-50 ◄► 0 ◄► 50 暗い　デフォルト　明るい
色の濃さ	-50 ◄► 0 ◄► 50 薄い　デフォルト　濃い
色あい	赤10 ◄► 0 ◄► 緑10 紫　デフォルト　緑
シャープネス	0 ◄――► 50
色温度	1　2　3　4　5　HB 赤 ◄――► 青
ランプモード	通常、省電力
アイリス	F3.0、F6.0 レンズ絞り値を設定します。 F3.0 : 明るさを優先するときに使用します。 F6.0 : コントラストを優先するときに使用します。

– ガンマの設定

ガンマカーブのタイプを変更するには、必ず映像モード（☞ P.22）の設定をユーザー1～9に設定してください。表示されたメニュー項目「ガンマ」を選び、お好みの明るさのガンマカーブ（A、B、C、D、E、シアター、スタンダード、ダイナミック）をお選びください。



– 色温度

1：　赤味が強くなります。色温度は約5250Kです。
2：　赤味がやや強くなります。色温度は約5800Kです。
3：　普通。色温度は約6500Kです。
4：　青みがやや強くなります。色温度は約7500Kです。
5：　青みが強くなります。色温度は約9300Kです。
HB（ハイブライト）：映像の明るさを最大にします。

注意
- **画質調整をするには、インデックスをデフォルト以外に設定してください。「映像モードについて」を参照 （☞ P.22）**
- **ガンマは映像モードでユーザーを選択しているときのみ設定できます。**
- **RGB入力では、「色あい」を調整することはできません。詳しくは20、21ページの「信号に対する機能一覧」を参照してください。**
- **画質調整の設定内容は、その時選択している映像モードに記憶されます。**

微調整をする(1)（ファインメニュー1）

このファインメニューを使うと、画質の微調整ができます。

メニュー項目	調整範囲
ノイズリダクション	0 ◄――► 50
赤ゲイン	-50 ◄――► 0 ◄――► 50
緑ゲイン	-50 ◄――► 0 ◄――► 50
青ゲイン	-50 ◄――► 0 ◄――► 50
赤バイアス	-50 ◄――► 0 ◄――► 50
緑バイアス	-50 ◄――► 0 ◄――► 50
青バイアス	-50 ◄――► 0 ◄――► 50
輝度信号ゲイン	-50 ◄――► 0 ◄――► 50
色差信号ディレイ	-5 ◄――► 0 ◄――► 5

– ノイズリダクション
: ノイズを減らす量を調整できます。

– 赤ゲイン
: 赤色のゲイン(利得)が調整できます。

– 緑ゲイン
: 緑色のゲイン(利得)が調整できます。

– 青ゲイン
: 青色のゲイン(利得)が調整できます。

– 赤バイアス
: 赤色のバイアス(オフセット)が調整できます。

– 緑バイアス
: 緑色のバイアス(オフセット)が調整できます。

– 青バイアス
: 青色のバイアス(オフセット)が調整できます。

– 輝度信号ゲイン
: 輝度の強調度を調整できます。

– 色信号調整ディレイ
: 輝度信号に対する色差信号の遅延時間を調整できます。

注意 **・ファインメニュー1の設定内容は、その時選択している映像モード（デフォルトを除く）に記憶されます。**

微調整をする(2)（ファインメニュー2）

メニュー項目	調整範囲
アスペクト	フル、ノーマル、ズーム、V-ストレッチ、スルー
シネマモード	オン, オフ
ビデオモード	オン, オフ
黒レベル	0IRE, 7.5IRE / エクスパンド, ノーマル（HDMI入力時）
FRC	オート、オン
CEC	オン、オフ
垂直シフト	-50 ◄――► 0 ◄――► 50
オーバースキャン	有効、無効

– シネマモード
オート： 入力信号に応じて自動的にシネマモードを選択します。
NTSC: 3-2 プルダウン、PAL: 2-2プルダウン
オフ： プルダウン処理を行いません。

– ビデオモード
オン： ビデオ再生または弱電波のテレビ信号を入力した場合、オフ状態で画像が安定しないときにこのモードをオン状態にします。画像が安定します。
オフ： 通常はこのモードでご使用ください。

– 黒レベル
黒レベルは接続しているビデオソースにより選択事項が異なります。

– FRC（フレームレート変換）
オート： フレームレート変換機能は通常オフとなります。ただし入力信号の垂直同期信号によってはオンになります。
オン： フレームレート変換機能をオンにすると、全ての入力信号が60Hzに変換されます。

– CEC（クロマエラーコレクション）
オン： 1080i信号などのCUE（クロマアップサンプリングエラー）を目立たなくします。
オフ： 通常はこのモードでご使用ください。

– 垂直シフト
画質調整メニューのアスペクトがズームかV-ストレッチに設定されているときは投射画面の見えない部分を垂直方向に動かして見ることが出来ます。

– オーバースキャン
NTSC、PAL、SECAM、480i、480p、576i、576p信号の映像周辺部分を表示するかしないか選択します。
有効： 映像信号の周辺部分を表示しません。（通常使用）
無効： 映像信号の全てを表示します。

注意 **・入力信号によっては、調整できない項目があります。**
・ファインメニュー2の設定内容は、その時選択している入力信号設定ごとに記憶されます。

入力信号設定をする

メニュー項目	調整範囲
コンポーネント1、コンポーネント2	オート, 480i / 576i, 480p, 540p, 576p, 720p, 1035i, 1080i, 1080p
S -ビデオ	オート, NTSC, PAL, SECAM
ビデオ	オート, NTSC, PAL, SECAM
RGB	オート, 480i / 576i, 480p, 540p, 576p, 720p, 1035i, 1080i, 1080p
HDMI 1、HDMI 2	オート, 480i / 576i, 480p, 576p, 720p, 1035i, 1080i, 1080p

NTSC（NTSC-3.58）
: 主に日本、アメリカ、カナダ、台湾、韓国で使用されている放送形式です。

PAL（PAL-4.43）
: 主にイギリス、ドイツで使用されている放送形式です。

SECAM : 主にフランス、ロシアで使用されている放送形式です。

480p : 通常のデジタル放送で使用されている放送形式です。

540p : 特別なデジタル放送で使用されている形式です。（例：RCA DTC100）

576p : 通常のデジタル放送で使用されている放送形式です。

720p, 1080i/p : HDデジタル放送で使用されている放送形式です。

1035i : 日本の「Hi-Vision」で使用されている放送形式です。

RGB/HD調整をする

メニュー項目	調整範囲
モード	オート、メモリー1、メモリー2、メモリー3
再調整	実行、戻る
水平サイズ	0 ◄——► 25 デフォルト 大
垂直サイズ	0 ◄——► 25 デフォルト 大
水平位置	-50 ◄——► 0 ◄——► 50 左 デフォルト 右
垂直位置	-10 ◄——► 0 ◄——► 10 下 デフォルト 上
位相	-10 ◄——► 0 ◄——► 10 後方 デフォルト 前方
クランプ位置	-50 ◄——► 0 ◄——► 50 後方 デフォルト 前方
クランプ幅	-50 ◄——► 0 ◄——► 50 小 デフォルト 大

– モード

オート : それぞれの調整項目が自動で調整されます。

メモリー1～3: 画像が自動調整しきれないときは、「メモリー」を選び調整を行ってください。

– 再調整
: このメニューの各調整項目を再度自動調整するときに選択します。

– 水平サイズ、垂直サイズ
: RGB/HD入力信号の水平解像度、垂直解像度を設定できます。

– 水平／垂直位置
: 入力信号の位置を移動します。垂直入力信号位置では縦方向（上下）に移動することができます。水平入力信号位置では横方向（左右）に移動することができます。

– 位相
: コンピューター機器からのアナログ RGB信号の位相および DMD素子の位相を調整します。画像が一番クリアに見えるように調整します。

– クランプ位置、幅
: RGB／HD入力時のクランプ位置、幅が調整できます。

HDMIの設定をする

メニュー項目	調整範囲
CSC HDMI 1、 CSC HDMI 2	オート、RGB、YP_BP_R 4:4:4、YP_BP_R 4:2:2、 YC_BC_R 4:4:4、YC_BC_R 4:2:2 HDMI入力に対する色空間変換の選択。
ディープカラー HDMI 1、 ディープカラー HDMI 2	オート、8Bit、10Bit、12Bit HDMI入力に対する色深度の選択。

– CSC HDMI 1/CSC HDMI 2

オート: 入力信号に合わせて色空間を自動選択します。
RGB: DVIなどの信号に有効です。
YP_BP_R: 720p、1080iなどの高品位テレビ信号に有効です。
YC_BC_R: 480p、480iなどの標準テレビ信号に有効です。

– ディープカラーHDMI 1/ディープカラーHDMI 2

オート: 入力信号に合わせて色深度を自動選択します。
通常はオートで使用してください。
8/10/12Bit: オートで表示される映像が正しくない時に選択します。
それぞれ色深度の入力設定を8Bit、10Bit、12Bitにします。

表示設定の調整

メニュー項目	調整範囲
キーストン	-25 ⟷ 0 ⟷ 25 (▽) (□) (△)
スケール	-100 ⟷ 0 (最小) (最大)
水平サイズ	-100 ⟷ 0 (最小) (最大)
水平位置	-50 ⟷ 0 ⟷ 50 左 デフォルト 右
垂直位置	-50 ⟷ 0 ⟷ 50 下 デフォルト 上
設置モード	フロント、リア、 フロント天吊り、リア天吊り

– キーストン
投射した画像の台形ひずみを補正します。

– スケール
画像のアスペクト比を変更せずに画像を縮小表示することが出来ます。最小で約70%まで縮小表示できます。

– 水平サイズ
画像の高さは変更せずに、画像の横幅を縮小表示することが出来ます。最小で約75%まで縮小表示できます。

– 水平／垂直位置
入力信号の位置を移動します。垂直入力信号位置では縦方向（上下）に移動することができます。水平入力信号位置では横方向（左右）に移動することができます。

– 設置モード
投影モードを設定することが出来ます。

フロント： 本機を床置きに設置して、スクリーンの正面側から投影するときに選択します。
リア： 本機を床置きに設置して、スクリーンの裏面側から投影するときに選択します。
フロント天吊り： 本機を天吊りに設置して、スクリーンの正面側から投影するときに選択します。
リア天吊り： 本機を天吊りに設置して、スクリーンの裏面側から投影するときに選択します。

OSD/ブランキング

メニュー項目	調整範囲
メニュー位置	左上、上、右上、左、中、右、左下、下、右下
ステータスOSD	有効、無効
パワーオフ確認	有効、無効
ブランキングメモリー	オフ、メモリー1、メモリー2、メモリー3
ブランキング上	0 ◄——► 100
ブランキング下	0 ◄——► 100
ブランキング左	0 ◄——► 100
ブランキング右	0 ◄——► 100

– メニュー位置

OSDの位置は9タイプに切り替えられます。

– ステータスOSD

有効: スタートアップ時や、入力信号、ピクチャーモード、アスペクトなどのモードを切り換えたとき、画面右上部分に現在の状態を一定時間表示します。

無効: ステータスOSDを常に表示しません。

– パワーオフ確認

無効: リモコンの⏻ボタン、または本機の⏻/ I ボタンを押し電源を切るときに、確認ダイアログを表示せず、直ちにスタンバイ状態になります。

有効: リモコンの⏻ボタン、または本機の⏻/ I ボタンを押し電源を切ると、電源を切るか継続するかを確認するダイアログが表示されます。すぐに電源を切る場合は「はい」を選択し、**ENTER**ボタンを押します。電源を切らない場合は「いいえ」を選択し、**ENTER**ボタンを押します。

– ブランキングメモリー

画面の一部を黒く隠す(マスク)ことが出来る機能です。このブランキング機能を使用、設定内容を変更したいとき、メモリー1〜3の中から選択します。

オフ: ブランキング機能がOFFになります。マスクは一切されません。

メモリー1〜3: 上下左右の設定をしたブランキング機能を3個までメモリーできます。

– ブランキング上、下、左、右

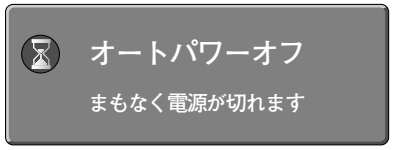
ブランキングメモリーのモードでメモリー1〜3を選択しているときに、上下左右それぞれのマスク幅を設定することができます。それぞれ0（マスクなし）から最大100まで設定できます。

初期設定をする

メニュー項目	調整範囲
オートパワーオフ	有効、無効
トリガー2フル	オン、オフ
トリガー2ノーマル	オン、オフ
トリガー2ズーム	オン、オフ
トリガー2 V-ストレッチ	オン、オフ
トリガー2スルー	オン、オフ
リモートコントロール	ワイヤレス／ワイヤード
ランプ時間リセット	実行、戻る
オールリセット	実行、戻る

– オートパワーオフ

オートパワーオフ機能を有効に設定すると、無信号で無操作の状態が約10分間続いたときは、自動的に本機の電源が切れます。
本機への入力信号が無く、何も操作しないで約9分が経過すると、右のメッセージが表示されます。



メッセージが表示されてから、約1分で本機の電源は切れます。

注意 : メッセージが表示された後に、本体の⏻/ I ボタンおよびリモコンの**ON**ボタン、**STANDBY**ボタン以外のボタンを押すと、オートパワーオフ機能は一度リセットされます。この後無信号状態でボタン操作がない時点から再びオートパワーオフ機能がスタートします。

– トリガー2

フル、ノーマル、ズーム、V-ストレッチ、スルーそれぞれのアスペクトモードに対して、トリガー2端子からのトリガー出力信号をオン（12V出力）またはオフ（出力信号なし）に設定することができます。
トリガー出力信号を使用して、自動アスペクトモード切り替え機能付きの電動スクリーンを、本機の操作に合わせて自動で切り替えることができます。

オン: 12V出力
オフ: 出力しない

– リモートコントロール

ワイヤレス: 付属のリモコンを使用するときに設定します。
ワイヤード: 本機のリモートコントロール端子にマランツのAV機器を接続したとき、または本機のRS-232C端子にパソコンなどを接続したときに、それぞれの機器から本機をコントロールする場合に設定します。付属のリモコンでは操作出来なくなります。

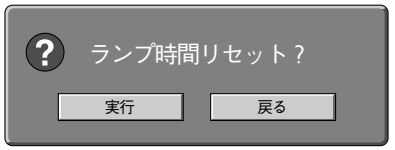
この項目を選択すると、現在設定されている項目と反対のモードに変更するかを確認するメッセージが表示されます。変更するには「実行」を選択し、“プロジェクター本体の”**ENTER**ボタンを押します。変更しない場合は「戻る」を選択し、**ENTER**ボタンを押します。

注意 – 誤操作防止の為、ワイヤード/ワイヤレスの選択を決定するとき、リモコンの**ENTER**ボタンでは受け付けません。必ずプロジェクター本体の**ENTER**ボタンを押して決定してください。

– ワイヤード設定からワイヤレス設定に変更するときは本体のボタンにより、メニューを操作してワイヤレスを設定して下さい。

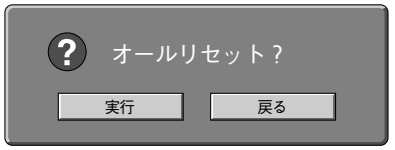
–ランプ時間リセット

ランプ寿命 2000時間をこえる前にランプ交換をした場合は、必ずランプ寿命をリセットしてください。この項目を選択すると右のメッセージが表示されます。
「実行」を選択し、**ENTER**ボタンを押すと、ランプ寿命がリセットされます。



–オールリセット

ランプ寿命以外の全てのメモリー設定が、工場出荷状態に戻ります。
この項目を選択すると、右のメッセージが表示されます。
「実行」を選択し、**ENTER**ボタンを押すと、メモリー設定がリセットされます。

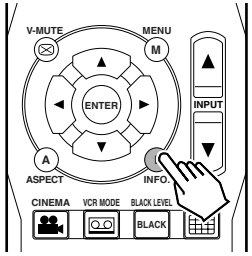


メンテナンスのしかた

ランプ寿命とランプ交換

❖ ランプ寿命

リモコンの**INFO.**ボタンを押すと下記の画面が表示されます。画面表示の下から2番目の項目がランプ寿命(残存時間)を表します。

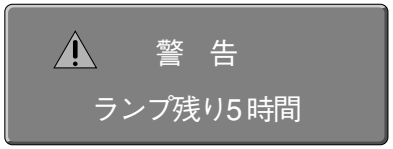


注意

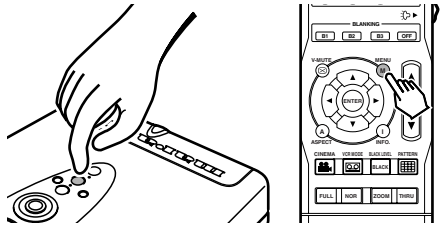
- **ランプの最大使用時間は2,000時間です。品質には万全を期しておりますが、ランプ使用時間が1000時間をこえると極まれにランプが破損することがあります。プロジェクターに設定されたランプ寿命が1000時間を切りましたら、早めのランプ交換をお勧めします。最大使用時間をこえてランプを使用し続けることはできません。**
- **本製品は出荷時に厳重な品質管理のもとで、出荷検査を行っています。メニューの累積使用時間は、この検査時間も含まれていますので、はじめてご使用されるときにおいても、累積使用時間は必ずしも0時間ではありません。**

– ランプ寿命が100時間以下になった場合、電源を入れると右図のようにランプ寿命時間が表示されます。

– ランプ寿命時間が5時間以下になった場合、右の画面が表示されます。



この表示を消すには、**MENU**ボタンを押してください。



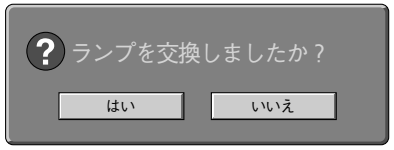
– ランプ寿命がなくなると、本機は約2分後に電源が切れ、ワーニングインジケータが黄色に点灯します。

右図の警告が表示され電源が切れたときは、すぐに新しいランプに交換してください。
(ランプユニットの交換を参照 ☞ **P.29**)

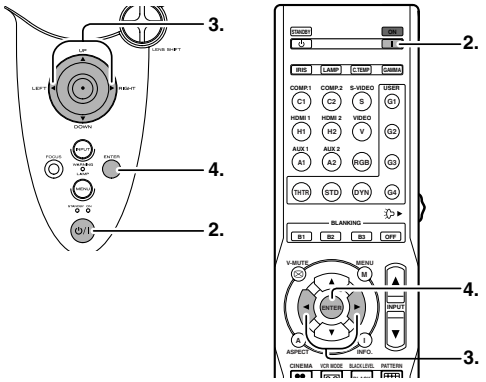
❖ ランプ寿命の初期化

ランプには2000時間の寿命があり、寿命の2000時間をこえて使用すると本機の電源が切れるようになっています。この場合、次の手順で使用中のランプ寿命をリセット(初期化)してください。

1. 「ランプ残り0時間」の警告表示後に本機の電源が切れます。新しいランプに交換してください。(☞ **P.29「ランプユニットの交換」**)
2. ランプ交換が完了したら、リモコンの**ON**ボタンまたは本体の⏻/ **I** ボタンを押してください。
   右記のメッセージ画面が120秒間表示されます。



3. **◀/▶** ボタンを押して、「はい」を選択します。
4. **ENTER**ボタンを押すとランプ寿命がリセット(初期化)されます。



ランプユニットの交換

注意

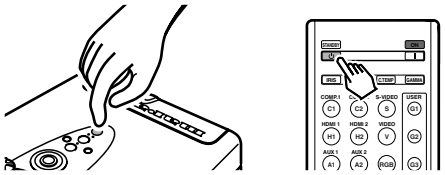
- **点灯中、消灯直後のランプまたはランプユニットは熱いので、絶対に触れないでください。ランプを取り扱う場合は、消灯した後に冷めるまで1時間以上待ってください。**
- **ランプ交換時、下記に説明しているネジ以外は絶対に取り外さないでください。**
- **無理な力を加えたり、機械的な衝撃を与えたりすると、ランプが破損する恐れがあります。**
- **交換用ランプユニットは、マランツ純正品 LU-12VPS3（別売）をお使いください。**

❖ ランプユニットの交換手順

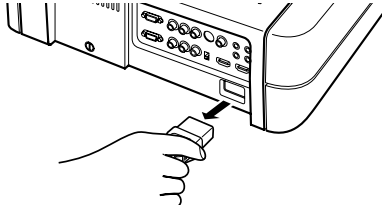
交換前の作業

ランプを交換するときは、本機の電源を切ってください。冷却ファンが止まった後に、AC電源コードを抜いて、完全に冷えるまで1時間以上待ってください。その後ランプを交換します。

1. リモコンの**STANDBY**ボタン、または本体の⏻/ **I** ボタンを押して本機の電源を切ります。



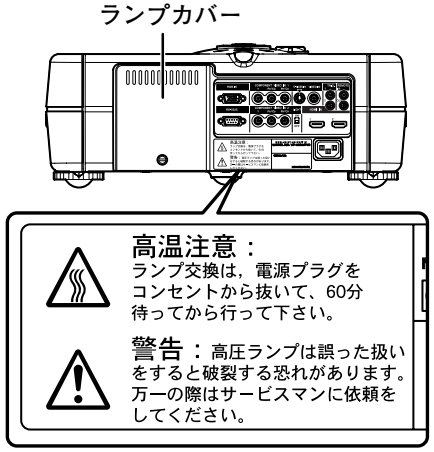
2. 冷却ファンが止まった後、AC電源コードを抜きます。



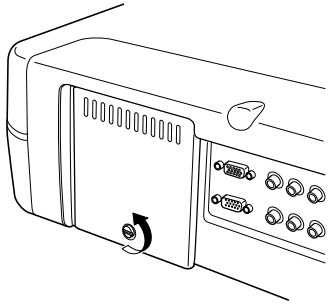
3. 本機が完全に冷えるまで、1時間以上待ちます。

4. 本機の背面にランプカバーがあります。（下図）

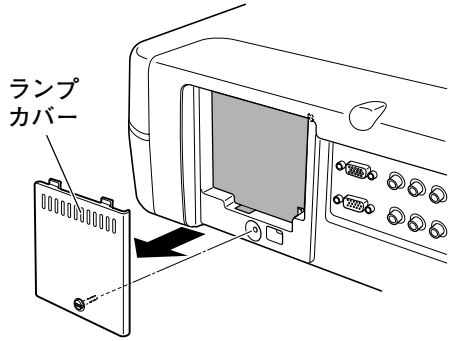
背面の注意文および警告文をよくお読みになり、作業を行ってください。



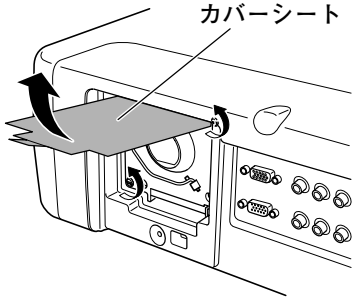
5. ランプカバーの止めネジを外します。



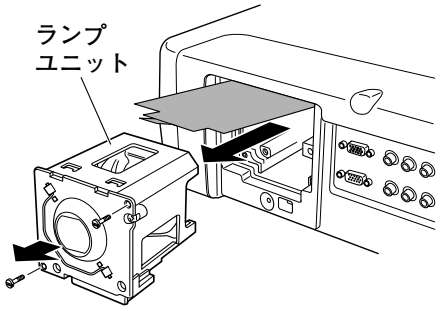
6. ランプカバーを矢印の方向に外します。



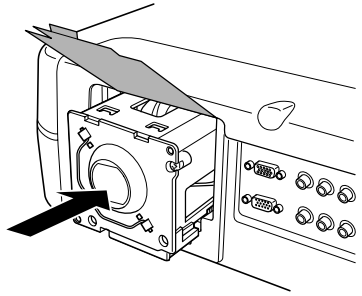
7. カバーシートを開いて、ランプユニットを止めている2本のネジ(マイナス)を外します。それ以外のネジは絶対に外さないでください。



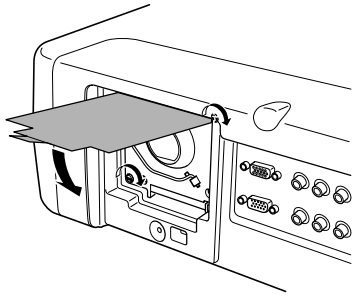
8. ランプユニットのハンドルを持って、ランプユニットを手前に引き、取り出します。



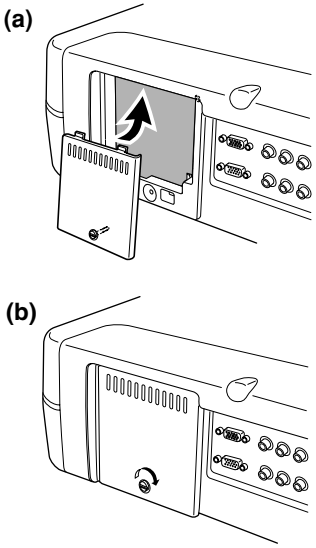
9. 新しいランプユニットを正しい方向で確実に取りつけます。



10. 手順 **7.**で外した2本のネジ(マイナス)でランプユニットを固定します。ハンドルを押して折りたたみ、カバーシートを閉じてください。



11. (a)ランプカバーを元のように取りつけ、(b)止めネジをしっかりと締めます。



12. AC電源コードを差し込み、本機の電源を入れ、画面を投影します。

- ランプ寿命2000時間をこえる前に、ランプの交換をした場合は、「ランプ時間リセット」(☞ **P.27**) を行ってください。
- ランプ寿命2000時間をこえた後に、ランプの交換をした場合は、「ランプ寿命の初期化」(☞ **P.28**) を行ってください。

レンズのお手入れ

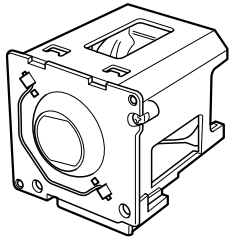
レンズにホコリがついたり汚れたりしたら、カメラや眼鏡用のクリーニング液を使い、乾いたやわらかい布で拭いてください。
濡れた布や洗剤、シンナー等は絶対に使わないでください。レンズを痛めたりシミになったりします。

交換部品

交換部品が必要になった場合は、当社営業所、サービスセンターにご連絡ください。マランツ指定の交換部品のみをご使用ください。指定のもの以外を使った場合、出火や感電などの危険があります。また、保証の対象外にもなります。

別売品

- **ランプユニット：LU-12VPS3**



仕　様

■ 光学系

パネル	1080p DLP® 2,073,600 画素（1920×1080）
ランプ	200W DC SHPランプ
明るさ	600/700 ANSI ルーメン （F6.0/F3.0）
レンズ	F：F3.0/F6.0 f：30.7～44.5 mm 1.45倍マニュアルズーム
投影サイズ	70～250インチ （16:9スクリーン使用時）
投影距離	2.3～14.0 m

■ 電気系

信号方式		NTSC－3.58、PAL-B/G、SECAM
入出力端子	**VIDEO IN**	RCA　　1系統 コンポジットビデオ1.0Vp-p/ 75Ω
	S-VIDEO IN	S端子　　1系統 Y（輝度）1.0Vp-p/ 75Ω C（クロマ）バースト0.286Vp-p/ 75Ω（NTSC） C（クロマ）バースト0.3Vp-p/ 75Ω（PAL）
	COMPONENT VIDEO IN	3RCA×2　2系統 G/Y　　:0.7Vp-p/75Ω B/C_B/P_B　:0.7Vp-p/75Ω R/C_R/P_R　:0.7Vp-p/75Ω
	RGB	ミニD-sub 15ピン　1系統 G　:0.7Vp-p/75Ω B　:0.7Vp-p/75Ω R　:0.7Vp-p/75Ω HD　:5Vp-pハイインピーダンス VD　:5Vp-pハイインピーダンス
	HDMI	HDMI　　2系統 HDMI1.3準拠（シングルリンクのみ）
	REMOTE-CONTROL IN	3.5φミニジャック　1系統
	REMOTE-CONTROL OUT	3.5φミニジャック　1系統
	Trig. Out（DC12V 100mA）	3.5φミニジャック　2系統
電源		AC100V 50/60 Hz
消費電力（電気用品安全法）		350W／0.3W（待機時）

■ その他

最大外形寸法	404.5（W）×489.5（D）×158（H）mm
質量	13 kg
動作温湿度	5 ～ 35℃/30 ～ 85% ただし、結露しないこと
保存温湿度	−20 ～ 60℃/30 ～ 85% ただし、結露しないこと

■ 付属品

- レンズキャップ
- リモコン
- 乾電池（単4×2本）
- AC電源コード
- バスコントロールアダプターケーブル
- 取扱説明書
- 保証書
- ご愛用者カード

この仕様または外観を改善のため予告なく変更することがあります。

❖ 対応解像度一覧

フォーマット	解像度	垂直(Hz)	水平(KHz)	コンポーネント1/2	CVBS/S-Video	RGB	HDMI
NTSC 3.58	-	59.94 / 60	15.734/15.75		●		
NTSC 4.43	-	59.94 / 60	15.734/15.75		●		
PAL-B/G	-	50	15.625		●		
PAL M	-	59.94 / 60	15.734/15.75		●		
PAL N	-	50	15.625		●		
PAL 60	-	59.94 / 60	15.734/15.75		●		
SECAM	-	50	15.625		●		
480/60i	720×487	59.94 / 60	15.734/15.75	●		●	
480/60p	720×483	59.94 / 60	31.469/31.5	●		●	●
576/50i	720×576	50	15.625	●		●	
576/48p	720×576	48	30	●		●	●
576/50p	720×576	50	31.25	●		●	●
540/60p	1920×540	59.94 / 60	33.746/33.78	●		●	
720/24p	1280×720	23.98 / 24	17.985/18	●		●	
720/25p	1280×720	25	18.75	●		●	
720/30p	1280×720	29.97 / 30	22.478/22.5	●		●	
720/50p	1280×720	50	37.5	●		●	●
720/60p	1280×720	59.94 / 60	44.955/45	●		●	●
1035/60i	1920×1035	59.94 / 60	33.716/33.75	●		●	●
1080/50i	1920×1080	50	28.125	●		●	●
1080/60i	1920×1080	59.94 / 60	33.716/33.75	●		●	●
1080/24PsF	1920×1080	23.98 / 24	26.978/27	●		●	
1080/25PsF	1920×1080	25	28.125	●		●	
1080/30PsF	1920×1080	29.97 / 30	33.716/33.75	●		●	
1080/24p	1920×1080	23.98 / 24	26.978/27	●		●	●
1080/25p	1920×1080	25	28.125	●		●	●
1080/30p	1920×1080	29.97 / 30	33.716/33.75	●		●	●
1080/50p	1920×1080	50	62.5	●		●	●
1080/60p	1920×1080	59.94 / 60	67.433/67.5	●		●	●
640×350@70Hz	640×350	70	31.469			●	
640×350@85Hz	640×350	85	37.861			●	●
640×400@70Hz	640×400	70	31.469			●	
640×400@85Hz	640×400	85	37.861			●	●
640×480@60Hz	640×480	60	31.469			●	●
640×480@72Hz	640×480	72	37.861			●	●
640×480@75Hz	640×480	75	37.5			●	●
640×480@85Hz	640×480	85	43.269			●	●
800×600@56Hz	800×600	56	35.156			●	●
800×600@60Hz	800×600	60	37.879			●	●
800×600@72Hz	800×600	72	48.077			●	●
800×600@75Hz	800×600	75	46.875			●	●
800×600@85Hz	800×600	85	53.673			●	●
1024×768@60Hz	1024×768	60	48.363			●	●
1024×768@70Hz	1024×768	70	56.476			●	●
1024×768@75Hz	1024×768	75	60.023			●	●
1024×768@85Hz	1024×768	85	68.678			●	
1280×1024@60Hz	1280×1024	60	63.981			●	
1600×1200@60Hz	1600×1200	60	75			●	

用　語

アスペクト（縦横比）

画面（投射画像）の縦と横の比率です。普通のコンピュータ画面やテレビ画面の比率は4：3です。ワイド画面の比率は16：9から21：9です。

黒レベル

黒の濃さを表すレベルです。
アメリカのNTSCシステムでは、7.5IREです。　　NORMAL：16（黒）～ 235（白）
日本のNTSCシステムとDVDでは、0IREです。　　EXPAND ： 0（黒）～ 246（白）

色温度

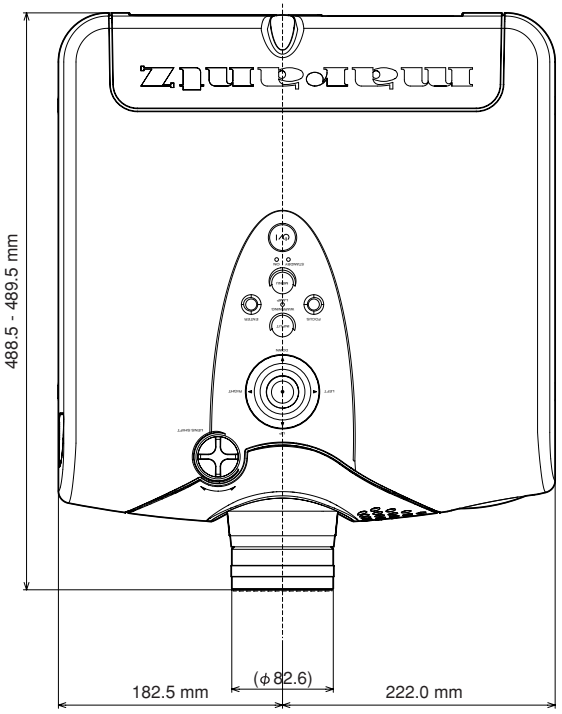
白色の色あいです。
色温度が低いと、暖かい感じ（黄色味／赤味が強く）の画像になります。
色温度が高いと、冷たい感じ（青味が強く）の画像になります。

キーストン

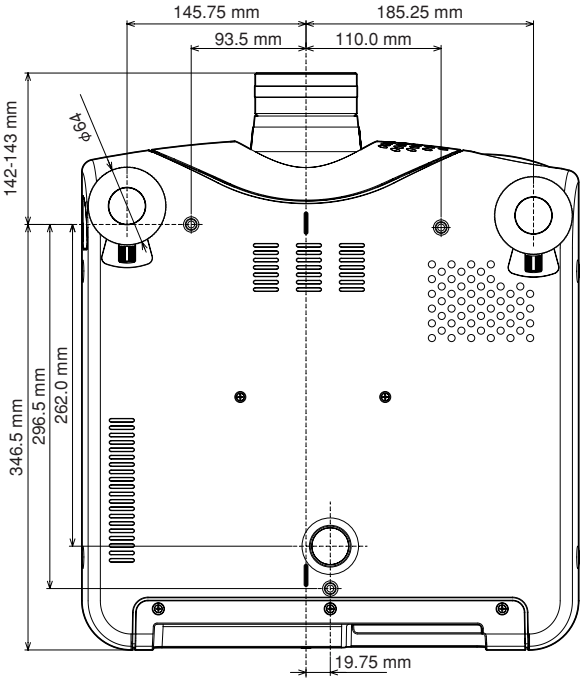
垂直方向の角度が正しくないために起こる、画面の歪みです。

外観図

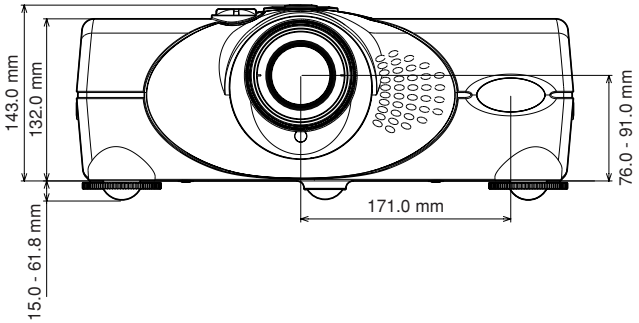
❖ 上面



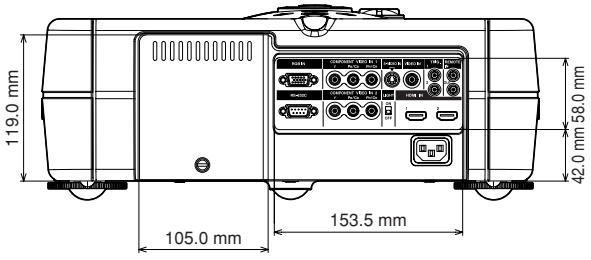
❖ 底面



❖ 正面



❖ 背面



故障かな? と思ったら

修理をご依頼される前に、次のことをチェックしてください。

1. 各機器との接続は正しく行われていますか？

2. 取扱説明書にそった、正しい操作を行っていますか？

本機が正しく動作しない場合は、以下の表の項目をチェックしてください。
以下の項目をチェックし、処置された後でも正しく動作しない場合は、内部の故障が考えられます。すぐにAC電源コードを抜いて、販売店または当社営業所、サービスセンターにご連絡ください。

症　　状	原　　因	処　　置
電源が入らない。	電源コードがはずれていませんか。	電源コードをしっかり差し込む。
	ランプハウス､ランプカバーが正しく取り付けられていますか。	ランプハウス、ランプカバーを正しく取りつける。(☞ **P.30**)
電源は入るが映像が出ない。	信号ケーブルがしっかり入力端子に接続されていますか。	信号ケーブルをしっかり入力端子に接続する。
	接続されている入力系統を選んでいますか。	本体INPUTボタン、あるいはリモコンのCOMPONENT1、COMPONENT2、S-VIDEO、VIDEO、RGB、HDMI 1、HDMI 2ボタンで接続されている入力系統を選ぶ。(☞ **P.16**)
	映像ミュートがかかっていませんか。	リモコンのV-MUTEボタンを押して映像ミュートを解除する。
色合いが合わない。	画質の調整をしましたか。	メニューを使い画質の調整をする。
映像が暗い。	ランプが寿命に近づいていませんか。	新しいランプと交換する。(☞ **P.29**)
	コントラスト、明るさが正しく調整されていますか。	メニューを使い、コントラスト、明るさを正しく調整する。(☞ **P.23**)
映像がぼやける。	レンズフォーカスが合っていますか。	レンズフォーカスを､フォーカスリングを回して調整する。(☞ **P.11**)
	レンズなどが結露していませんか。	電源を入れた状態で2時間程度放置する。
映像が乱れる。	信号ケーブルが正しく接続されていますか。	信号ケーブルを正しく接続する。
リモコンが動作しない。	乾電池が消耗していませんか。	乾電池を新しいものと取り替える。(☞ **P.8**)
	距離が離れすぎていませんか。	近づいて送信する。(☞ **P.8**)
	リモコンとの間に遮へい物はありませんか。	遮へい物を取り除く。
	メニュー画面のリモートコントロールの設定がワイヤードになっていませんか。	メニュー画面のリモートコントロールの設定をワイヤレスにする。(☞ **P.28**)

注意
- **ランプを交換しランプ寿命を初期化した後でもランプが点灯しない場合は、お買い上げの販売店または当社営業所、サービスセンターにご連絡ください。**
- **本機はマイコンを使用した機器です。外部からの雑音やノイズにより正常に動作しないことがあります。このような場合は一度電源を切って、電源コードをコンセントから抜いてください。そして、再度電源プラグをコンセントに差しこみ、本機の⏻/ Iボタンを押すかリモコンのONボタンを押し、動作の確認をしてみてください。**

エラーモード一覧

本機にはWARNING/LAMP, ON, STANDBY の3つのインジケーターから故障の判別を行うことができます。
もし各インジケータがエラーモードを表示したら、下記一覧表を参照し適切な処置を行ってください。

注意 **エラーモードが表示され以下の処置を行うときは、必ず一度AC電源コードを抜き、再度差し込んでから処置を行ってください。**

エラーモード	インジケーター			原　因	処　置
	WARNING / LAMP	ON	STANDBY		
ランプカバー	点灯	消灯	点滅	ランプカバーが正しく装着されていない。	ランプカバーが正しく装着されていることを確認してください。
ランプ	点灯	消灯	消灯	ランプ点灯失敗。	ランプが寿命に達していないかを確認してください。
温度	点滅	消灯	点滅	本体内部温度が規定値より高い。	吸排気孔の前に物が置かれていないか確認してください。
ファン	点滅	消灯	点灯	ファンに異常がある。	
その他	点滅	消灯	消灯	内部プログラムエラー。	再度電源を入れ直してください。

スクリーンメッセージ

スクリーン上に次のようなメッセージが表示された場合は、下記一覧表を参照し適切な処置を行ってください。

メッセージ	メッセージ内容	処　置
入力信号なし	信号が入力されていません。	接続を確認する。
ランプを交換しましたか？	ランプを交換してください。	ランプを交換する。
未対応信号	サポートしていない信号が入力されています。	入力信号の設定を確認する。

保証・アフターサービスについて

1. この商品には保証書を別途添付してあります。
   保証書は「販売店・お買い上げ日」をご確認の上、販売店からお受けとりいただき、よくお読みの上、大切に保存してください。

2. 保証期間はお買い上げ日より1年間です。(但し、ランプは除きます。)
   正常なご使用状態で、この期間内に万一故障の節は、お買い上げ販売店、または当社営業所、サービスセンターで保証書記載事項に基づき「無料修理」いたします。

3. 保証期間経過後の修理
   修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

4. 当社はこの製品の補修用性能部品を製造打切後最低8年間保有しています。

5. 補修用部品の詳細・ご贈答・ご転居等アフターサービスについての不明な点は、お買い上げ販売店または取扱説明書の裏面に記載の当社営業所、サービスセンターにご遠慮なくご相談ください。

6. 修理を依頼される際には、お手数ですがもう一度「故障かな？ と思ったら」をご参照の上よくお調べください。それでも直らないときには、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

ご連絡いただきたい内容

1) 品　　名　**ビデオプロジェクター**
2) 品　　番　**VP-11S1**
3) お買上げ日　年　月　日
4) 故障の状況　(できるだけ具体的に)
5) ご　住　所
6) お　名　前
7) 電 話 番 号

marantz®

お客様ご相談センター

☎ (03) 3719-3481

ご相談受付時間
9：30ー12：00　13：00ー17：00
（土　日　祝日　当社休日を除く）

修理に関しましては 添付の「 **製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内** 」をご覧ください。

株式会社 **マランツ** コンシューマー マーケティング

当社の最新情報をインターネット上でご覧下さい。
http://www.marantz.jp

Printed in Japan

02/2007　00M27AV851110　mzh-g